WAPMシリーズ
コマンドリファレンス

このたびは、弊社製AirStation Proをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
本書は、CLIコマンドについて説明しています。必要に応じてお読みください。

目次

1 はじめに

本書について

本書は、AirStation Proシリーズのコマンドラインインターフェース(CLI)の文法・設定方法・注意事項などを記載したマニュアルです。一般的な設置や利用方法などについては、各製品のユーザーズマニュアルを参照してください。

本書は、以下の製品およびファームウェアのバージョンに対応したものとなっております。

AirStation Pro	WAPM-HP-AM54G54	Ver.2.53
	WAPM-APG300N	Ver.2.54
	WAPM-AG300N	Ver.2.54

上記のバージョン以降のファームウェアであれば、本書の内容に従って設定を行うことが可能ですが、ファームウェア改版などにより文法・設定方法などを予告なく変更する可能性があります。

コマンドリファレンスは、ファームウェアと共に最新版のものを入手することをお勧めいたします。最新のコマンドラインリファレンスにつきましては、以下のURL をご確認ください。

WAPM-HP-AM54G54

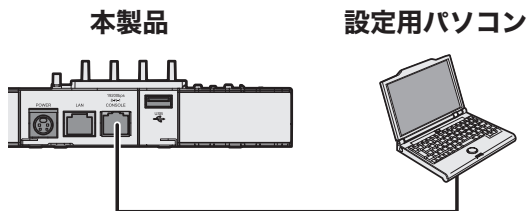
http://buffalo.jp/download/manual/w/wapmhpam54g54.html

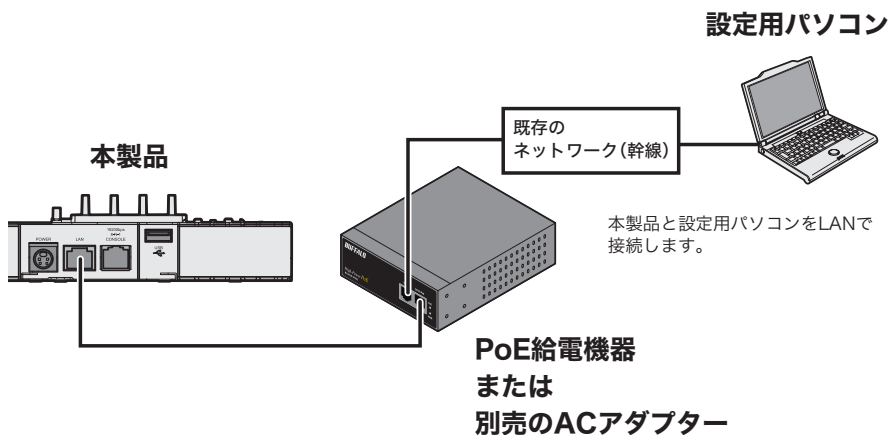
WAPM-APG300N / WAPM-AG300N

http://buffalo.jp/download/manual/w/wapmapg300n_ag300n.html

コマンドラインインターフェースの利用方法

本製品のコマンドラインインターフェースは、シリアルポート、TELNETおよびSSHの３種類の接続方式に対応しています。TELNET、SSHはネットワークを経由し、離れた場所にある機器のコマンドラインインターフェースを操作することができます。

接続例（シリアル接続）

本製品のシリアルポートと設定用パソコンの
シリアルポートをシリアルケーブルで接続します。

接続例（TELNETまたはSSH接続）

ターミナルソフトの準備

コマンドラインインターフェースに接続するためには、ターミナルソフトが必要となります。本製品では以下のターミナルソフトを用いることを推奨しております。

Windows付属のハイパーターミナル(Windows XP/2000)※1

Tera Term Ver.4.60以降※2

Kterm 6.2.0 + telnet(Linux NetKit)またはslogin(openssh)

※1 ハイパーターミナルで利用可能な接続方法は、シリアルポート・TELNETのみとなります。

⚠注意 Tera Term(Ver.4.60 以降)の初期状態では、他のターミナルソフトと異なるキーマップが設定されているため、Home、Endキーのマッピングが本製品の設定と異なる仕様となっております。これらのキーを利用する場合は、以下の手順でキーマップの設定を変更してください。

1. [設定]－[キーマップの読み込み]を選択します。
2. ファイルの中から「FUNCTION.CNF」を選択し、[開く]をクリックします。
3. 「TERATERM.INI」を選択し、[保存]をクリックします。

本製品へのログイン

本製品へのログインは、以下の手順で行えます。

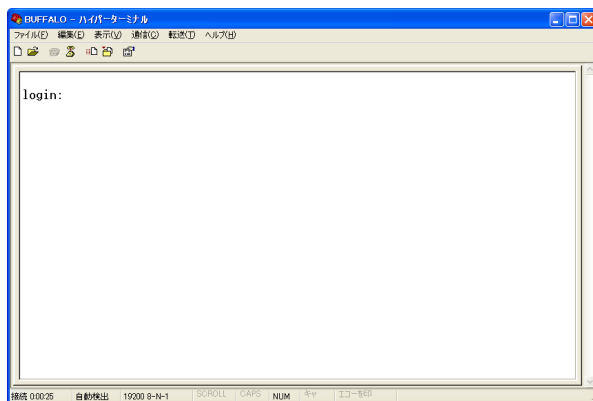
シリアル接続/TELNET接続

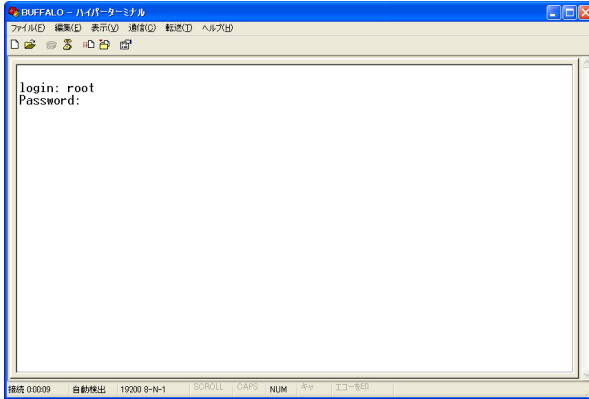
1 シリアル接続の場合は、ターミナルソフトを次のとおりに設定し、本製品にアクセスします。

- 接続方法　　　：COM1など
- データレート　：19200bps
- データビット　：8
- ストップビット：1
- パリティ　　　：なし
- フロー制御　　：なし

TELNET接続の場合は、本製品に設定されているIPアドレスを接続先に指定してください。

※本製品の出荷時のIPアドレスは、ユーザーズマニュアルの「初期設定一覧」を参照してください。

2 ターミナルが適切にセットアップできたら、ログインメニューが表示されます。文字が表示されない場合は<Enter>を押してください。

3 Login: にrootと入力し、<Enter>を押します。

4 Password: には何も入力しないで、<Enter>を押します（Passwordはデフォルトでは設定されていません）。

5 「Hello! APxxxxxxxxxxxx#」（例：Hello! AP1234567890AB#）と表示されます。

（xxxxxxxxxxxxの部分は、お使いの環境によって異なります）

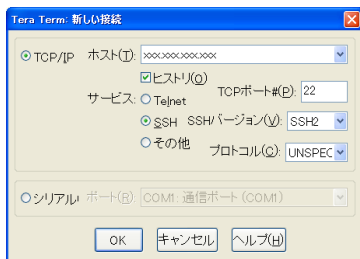
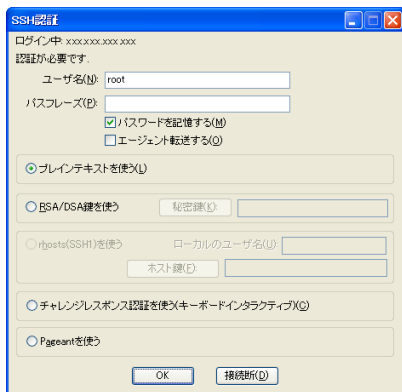
```
Hello!
APxxxxxxxxxxxx
Welcome to BUFFALO CLI !
(profile1)man$
```

以上で本製品へのログインは完了です。

SSH接続

1 ターミナルソフトを起動します。

2 ホスト欄に本製品に設定されているIPアドレスを入力し、サービスにSSHを選択して[OK]をクリックします。

※本製品の出荷時のIPアドレスは、ユーザーズマニュアルの「初期設定一覧」を参照してください。

3 ユーザ名に「root」と入力し、[OK]をクリックします(パスフレーズはデフォルトでは設定されていません)。

4 「Hello! APxxxxxxxxxxxx#」(例:Hello! AP1234567890AB#)と表示されます。
(xxxxxxxxxxxx の部分は、お使いの環境によって異なります)

```
Hello!
APxxxxxxxxxxxx
Welcome to BUFFALO CLI !
(profile1)man$
```

以上で本製品へのログインは完了です。

IPアドレスの設定

手動設定する

IPアドレスを割り当てる前に、ネットワーク管理者へ次の情報を確認してください。

・本製品用のIPアドレス
・ネットワークのサブネットマスク

次の場合を例に、IPアドレスを変更します。

・本製品用のIPアドレス　　　　　　:例 192.168.11.200
・ネットワークのサブネットマスク :例 255.255.255.0

設定手順は次のとおりです。

1 本製品にログインします。

2 「ip lan address 192.168.11.200/255.255.255.0」と入力し、<Enter>を押します。

```
(profile1)man$ ip lan address 192.168.11.200/255.255.255.0
```

3 「There is a possibility that the CLI session is disconected for this processing,continue ? (y/n)」と表示されたら、<y>を押し、<Enter>を押します。

```
There is a possibility that the CLI session is disconected for
this processing, continue ? (y/n)y
Good-bye!!
```

メモ IPアドレスとサブネットマスクを確認するには、再度本製品にログインし、「ip show status」と入力して<Enter>を押してください。

DHCPサーバーから自動取得する

DHCPサーバーからIPアドレスなどを自動的に取得するための設定手順を説明します。

設定手順は次のとおりです。

1 本製品にログインします。

2 「ip lan address dhcp」と入力し、<Enter>を押します。

```
(profile1)man$ ip lan address dhcp
```

3 「There is a possibility that the CLI session is disconected for this processing,continue ? (y/n)」と表示されたら、<y>を押し、<Enter>を押します。

```
There is a possibility that the CLI session is disconected for
this processing, continue ? (y/n)y
Good-bye!!
```

メモ IPアドレスとサブネットマスクを確認するには、再度本製品にログインし、「ip show status」と入力して<Enter>を押してください。

2 コマンドラインインターフェース

コマンドモードについて

本製品には、Reference Mode（参照モード）、Immediate Mode（即時実行モード）、Edit Mode（編集モード）の３つのコマンドモードがあります。ここでは、それぞれのコマンドモードについて説明します。

Reference Mode（参照モード）は、設定内容の参照のみ行うことができます。

Immediate Mode（即時実行モード）は、コマンド１命令ごとに設定を反映させ、設定を内部のフラッシュメモリーに保存します。設定の保存・再構成を行うため、コマンドあたりに要する時間は長くなりますが、入力したコマンドは即時に反映されます。

Edit Mode（編集モード）は、即時実行モードとは異なり、コマンドごとに設定を反映しません。設定を反映するためには、反映を行うコマンド（edit save等）か、編集モードを抜けるコマンド（edit end等）を実行する必要があります。

Reference Mode（参照モード）

手順

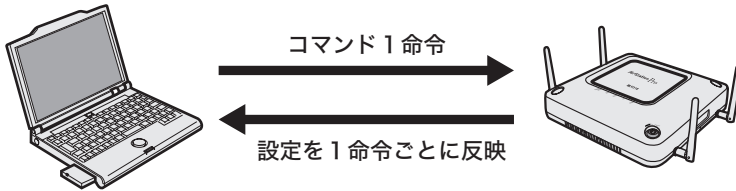
1 本製品にログインします。
Loginに「user」を入力し、<Enter>を押します（Passwordはデフォルトでは設定されていません）。

2 「Hello! APxxxxxxxxxxxx#」（例：Hello! AP1234567890AB#）と表示されます。
（xxxxxxxxxxxxの部分は、お使いの環境によって異なります）

```
Hello!
APxxxxxxxxxxxx
Welcome to BUFFALO CLI !
(profile1)man>
```

メモ コマンドラインインターフェースを終了させる場合は、exitまたはquitと入力し、<Enter>を押してください。
（exitコマンドについてはP171を、quitコマンドについてはP171を参照してください。）

3 コマンドを入力します。<Tab>を押すと、コマンドを補完することができます。

Immediate Mode（即時実行モード）

手順

1 本製品にログインします。
Loginに「root」を入力し、<Enter>を押します（Passwordはデフォルトでは設定されていません）。

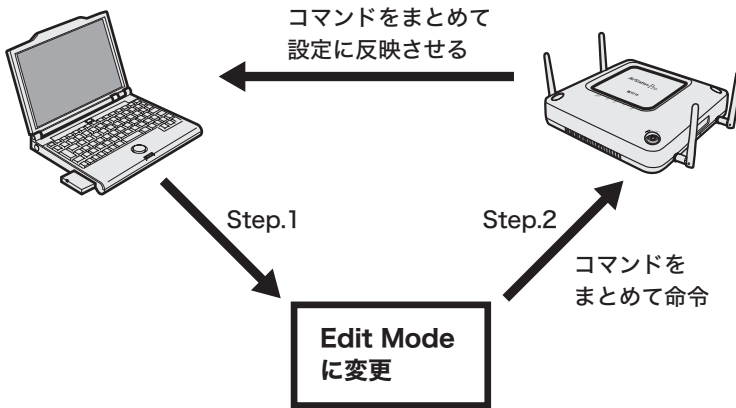
2 「Hello! APxxxxxxxxxxxx#」（例：Hello! AP1234567890AB#）と表示されます。
（xxxxxxxxxxxxの部分は、お使いの環境によって異なります）

```
Hello!
APxxxxxxxxxxxx
Welcome to BUFFALO CLI !
(profile1)man$
```

メモ コマンドラインインターフェースを終了させる場合は、exitまたはquitと入力し、<Enter>を押してください。
（exitコマンドについてはP171を、quitコマンドについてはP171を参照してください。）

3 コマンドを入力します。<Tab>を押すと、コマンドを補完することができます。

4 コマンド入力後、<Enter>を押すと、すぐにコマンドを実行し、設定が内部のフラッシュメモリーに保存されます。

Edit Mode(編集モード)

手順

1 本製品にログインします。
Loginに「root」を入力し、<Enter>を押します(Passwordはデフォルトでは設定されていません)。

2 「Hello! APxxxxxxxxxxxx#」(例:Hello! AP1234567890AB#)と表示されます。
(xxxxxxxxxxxxの部分は、お使いの環境によって異なります)

```
Hello!
APxxxxxxxxxxxxx
Welcome to BUFFALO CLI !
(profile1)man$
```

メモ コマンドラインインターフェースを終了させる場合は、exitまたはquitと入力し、<Enter>を押してください。
(exitコマンドについてはP171を、quitコマンドについてはP171を参照してください。)

3 コマンド: edit start profnum 1を入力します。
(ここでは編集するプロファイルをprofnum1として実行しています)

4 コマンドの画面が「(profile1)man$」から「(profile1)man[edit]$」に変わり、Edit Modeが開始されます。

```
(profile1)man$ edit start profnum 1
(profile1)man[edit]$
```

5 コマンドを入力します。
Edit Modeでは、下記のようにコマンドを複数入力した後に設定反映することができます。
(<Tab>を押して、コマンドを補完することもできます)

```
(profile1)man$ edit start profnum 1
(profile1)man[edit]$ setup date 2011/07/22
(profile1)man[edit]$ ip lan address 192.168.11.101/
255.255.255.0
(profile1)man[edit]$ airset maclist add 00:11:22:1a:2b:3c
(profile1)man[edit]$ edit end
Setting charged. Do you excuse ? (y/n)y
(profile1)man$
```

6 Edit Modeの終了コマンド(edit end)を実行すると、設定が反映されます。

メモ 一部のコマンドは、Edit Modeではご使用になれません。Edit Modeで使用できるかどうかは、各コマンド解説の【コマンドモード】欄をご参照ください。

コマンドの解説について

ここでは、各種コマンド解説ページの読みかたや仕様について説明します。

コマンド解説ページの読みかた

【コマンド構文】

コマンドの入力形式を説明しています。山カッコ(<　>)は、コマンドの変数パラメーターを表します。入力可能な文字列は【パラメーター】で説明しています。角カッコ([　])は、バーチカルライン(｜)で区切られたパラメーターから選択または、省略可能なパラメーターを表します。

例:

ip lan address　[<address>/<maskbit> | <address>/<maskip> | dhcp]

コマンド本文　　パラメーター引数

※ここでは、<address>/<maskbit>、<address>/<maskip>、dhcpの３つのパラメーターが選択できることを示しています。詳しくは、各コマンドの【パラメーター】欄をご参照ください。

【パラメーター】

コマンドで使用する引数を説明しています。

【デフォルト設定】

工場出荷時の設定値を記載しています。

【コマンドモード】

使用することができるモードを説明しています。(記載がないモードでは使用できません)

【対応製品】

コマンドが使用できる製品名を説明しています。

【対応バージョン】

コマンドが使用できるファームウェアのバージョンを説明しています。

【コマンドの例】

コマンドに実際のパラメーターを入れた例を説明しています。

特殊文字の入力

コマンドのパラメーター引数に特殊文字を使用する場合は、以下のルールに従って入力してください。

特殊文字	入力例	説明
スペース	“abc de”	ダブルクォーテーション(“”)で囲んで入力します。
セミコロン(;)	“xyz;pqr”	ダブルクォーテーション(“”)で囲んで入力します。
シャープ(#)	“#string”	ダブルクォーテーション(“”)で囲んで入力します。
円記号(¥)	“nm¥¥op”	ダブルクォーテーション(“”)に囲まれた内部で円記号(¥)を使用する場合は、円記号(¥)にてエスケープします。
ダブルクォーテーション(“”)	“stu¥”vw”	ダブルクォーテーション(“”)に囲まれた内部でダブルクォーテーション(“”)を使用する場合は、円記号(¥)にてエスケープします。

自動ログアウト

５分間キー入力がない場合には、自動的にログアウトします。

排他ログイン

コマンドラインインターフェースとWeb設定画面とは、同時にログインできません。コマンドラインインターフェースにログインする場合は、Web 画面からログアウトしてください。また、ログイン中はAdmin Tools等からのコマンド実行ができません。これらのツールを利用する場合は、コマンド実行の前にログアウトするようにしてください。

また、異なるアカウント(rootまたはuser)の場合においても同時にはログインできません。

コメントアウト文

シャープ(#)から改行までの間の文字列は、コマンドの処理に影響を与えません。

例)以下の文では、#(defult)以降の文字列はコメントとなります。

```
ip lan address dhcp # (default)ip lan address 192.168.11.100/255.255.255.0
```

コマンドプロンプト

コマンドプロンプトの表示形式は、以下の通りとなります。

“(プロファイル名)”+”auto｜man”+[”[edit]”]+[$｜>]

edit	：	編集モード中
プロファイル名	：	実行中のプロファイル名 編集モード状態の場合は編集中のプロファイル名を表す
auto	：	スケジューラー自動切替中
man	：	スケジューラー手動切替中
$	：	管理ユーザー(root)がログイン中
>	：	参照ユーザー(user)がログイン中

forceオプション

forceオプションを設定すると、確認メッセージを表示せずに、強制的にコマンドを実行することができます。

例:setup reboot コマンド(forceオプションあり)

```
(profile1)man$ setup reboot force
(profile1)man$
```

例:setup reboot コマンド(forceオプションなし)

```
(profile1)man$ setup reboot
Are you sure to restart AirStation ? (y/n)y
(profile1)man$
```

setupコマンド

setup init

本製品に設定されているパラメーターをすべて初期値に戻します。
(except ipが入力された場合は、本製品のIPアドレス以外を初期値に戻します)

【コマンドの構文】

setup init [except ip] [force]

【パラメーター】

なし

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Immediate Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.00以降

【コマンドの例】

```
# setup init
# setup init except ip
# setup init force
# setup init except ip force
```

setup reboot

本製品の再起動を行います。

【コマンドの構文】

setup reboot [force]

【パラメーター】

なし

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Immediate Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.00以降

【コマンドの例】

```
# setup reboot
# setup reboot force
```

setup save

現在の本製品の設定内容をファイルで保存します。

【コマンドの構文】

setup save target <taeget> [server <tftp-server>] file <filename> [pass <password>] [force]

【パラメーター】

<target>	usb	本製品に接続したUSBフラッシュメモリーに設定を保存します。(WAPM-APG300N/WAPM-AG300Nのみ)
	tftp	設定をTFTPサーバーに保存します。
<tftp-server>		TFTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を設定します。(1～255文字)
<filename>		設定ファイルの名称を設定します。(1～64文字)
<password>		設定ファイルを保護するパスワードを設定します。(1～32文字)

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N

【対応バージョン】

Ver.2.40以降

【コマンドの例】

```
# setup save target tftp server 192.168.11.87 file
buffalo-wapm.bin pass 123456
# setup save target usb file buffalo-wapm.bin
```

setup restore

設定ファイルから本製品の設定を復元します。

【コマンドの構文】

setup restore target <target> [server <tftp-server>] file <filename> [pass <password>] [force]

【パラメーター】

<target>	usb	本製品に接続したUSBフラッシュメモリーから設定を復元します。(WAPM-APG300N/WAPM-AG300Nのみ)
	tftp	TFTPサーバーから設定を復元します。
<tftp-server>		TFTPサーバーのIP アドレスまたはホスト名を設定します。(1～255文字)
<filename>		設定ファイルの名称を設定します。(1～64文字)
<password>		設定ファイルを保護するパスワードを設定します。(1～32文字)

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Immediate Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N

【対応バージョン】

Ver.2.40以降

【コマンドの例】

```
# setup restore target tftp server 192.168.11.87 file
buffalo-wapm.bin pass 123456
# setup restore target usb file buffalo-wapm.bin
```

setup firmware

本製品のファームウェアを更新します。

【コマンドの構文】

setup firmware target <target> [server <tftp-server>] file <filename>

【パラメーター】

<target>	usb	本製品に接続したUSBフラッシュメモリーからファームウェアを更新します。(WAPM-APG300N/WAPM-AG300Nのみ)
	tftp	TFTPサーバーからファームウェアを更新します。
<tftp-server>		TFTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を設定します。(1～255文字)
<filename>		ファームウェアファイルの名称を設定します。(1～64文字)

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Immediate Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N

【対応バージョン】

Ver.2.40以降

【コマンドの例】

```
# setup firmware target tftp server 192.168.11.87 file
buffalo-wapm.bin
# setup firmware target usb file buffalo-wapm.bin
```

setup apname

本製品のエアステーション名(ホスト名)を設定します。

【コマンドの構文】

setup apname <apname>

【パラメーター】

<apname> エアステーション名を設定します。(1～32文字)

【デフォルト設定】

AP [本製品のLAN側MACアドレス]

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# setup apname enterprise-network
```

setup username

本製品のユーザー認証に用いられるユーザー名とパスワードを設定します。

【コマンドの構文】

setup username [admin | user] <username> <oldpasswd> <newpasswd>
setup <username>

【パラメーター】

[admin	user]	管理者ユーザー(admin)または参照ユーザー(user)を選択します。
<username>	ユーザー名を指定します。
<oldpasswd>	現在設定されているパスワードを入力します。
<newpasswd>	新しく設定するパスワードを入力します。 (パスワードは0～32文字で設定します)

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.52以降

【コマンドの例】

```
# setup username user 12345 98765
# setup username admin
```

setup password

本製品の設定画面にログインするためのパスワードを設定します。

【コマンドの構文】

setup password <username> <oldpasswd> <newpasswd>
setup password

【パラメーター】

<username>	ユーザー名を指定します。
<oldpasswd>	現在設定されているパスワードを入力します。
<newpasswd>	新しく設定するパスワードを入力します。 （パスワードは0～32文字で設定します）

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.00以降

【コマンドの例】

```
# setup password 12345 98765
# setup password
```

setup date

本製品の内部時計の機能を設定します。

【コマンドの構文】

setup date [[YY｜YYYY]]/<MM>/<DD> <HH>:<MM>:<SS>]
setup date [[YY｜YYYY]]/<MM>/<DD> <HH>:<MM>]
setup date [[YY｜YYYY]]/<MM>/<DD>]
setup date [<HH>:<MM>:<SS>｜<HH>:<MM>]

【パラメーター】

[YY｜YYYY]	設定年を2桁または4桁で入力します。 （2037年まで設定可）
<MM>	設定月を2桁で入力します。
<DD>	設定日を2桁で入力します。
<HH>	設定時を24時間表示で入力します。
<MM>	設定分を入力します。
<SS>	設定秒を入力します。

【デフォルト設定】

ファームウェア作成年の01月01日00時00分00秒（GMT）

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# setup date 2011/12/25 12:34:56
# setup date 10/12/31 23:20
# setup date 23:20:40
# setup date 23:20
```

setup ntp client

本製品のNTPクライアント機能を設定します。

【コマンドの構文】

setup ntp client enable server <ntp-server> interval <ntp-interval>
setup ntp client disable

【パラメーター】

<ntp-server>	NTPサーバーのIP アドレスまたはホスト名を設定します。（1～128文字）
<ntp-interval>	NTPサーバーに時刻を問い合わせる間隔を設定します。（1～24時間）

【デフォルト設定】

無効

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# setup ntp client enable server buffalo.jp interval 24
# setup ntp client disable
```

setup timezone

本製品の内部時計のタイムゾーン(グリニッジ標準時からの時差)を設定します。

【コマンドの構文】

setup timezone <zone-name>

【パラメーター】

<zone-name> タイムゾーンを指定します。
設定できる数値は、以下の通りです。
+0000
+0100
+0200
+0300
+0400
+0500
+0600
+0700
+0800
+0900
+1000
+1100
+1200
-0100
-0200
-0300
-0400
-0500
-0600
-0700
-0800
-0900
-1000
-1100
-1200
JST
PST
MST
CST
EST
AST
UTC
CET
EET
GST
NZST

【デフォルト設定】

+0900

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# setup timezone +0800
```

setup syslog client

syslogプロトコルによるログ情報転送機能を設定します。

【コマンドの構文】

setup syslog client enable server <servername>
setup syslog client disable
setup syslog client facility <facility> [enable | disable]
setup syslog client usb [enable | disable]

【パラメーター】

<servername>	syslogサーバーのIPアドレスまたはホスト名を設定します。(1～255文字)	
<facility>	転送するログ情報を以下から選択します。	
	filter	パケットフィルター
	dhcpc	DHCPクライアント
	aoss	AOSS
	wireless	無線クライアント
	auth	認証
	config	設定変更
	system	システム起動
	ntpc	NTPクライアント
	ether	有線リンク
	profile	プロファイラー
	ppp	PPPoEクライアント
	dhcps	DHCPサーバー
	usb	USB
	adt	ADT
	route	ROUTE
	all	すべて

【デフォルト設定】

無効

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# setup syslog client enable server 192.168.11.86
# setup syslog client disable
# setup syslog client facility wireless disable
# setup syslog client facility ntpc enable
# setup syslog client usb enable
```

setup management

本製品の管理インターフェースについて設定を行います。

【コマンドの構文】

setup management http [enable | disable]
setup management https [enable | disable]
setup management telnet [enable | disable] [force]
setup management ssh [enable | disable] [force]
setup management adt2 init [force]
setup management snmp agent [enable version [v1v2 get <getcomm> set <setcomm>] v3 | disable]
setup management snmp trap [enable [comm <trapcomm> manager <manager>] | disable]

【パラメーター】

<getcomm>	SNMPマネージャーが本製品に対して「GET Request」を送信する際に指定するコミュニティー名を設定します。(6～32文字)
<setcomm>	SNMPマネージャーが本製品に対して「SET Request」を送信する際に指定するコミュニティー名を設定します。(6～32文字)
<trapcomm>	本製品がSNMPマネージャーにTrap通知を送信する際のコミュニティー名を設定します。(6～32文字)
<manager>	Trap通知を行う場合の通知先のホスト名またはIPアドレスを設定します。(1～255文字)

【デフォルト設定】

http / https / telnet / sshが有効(snmpは無効)

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.00以降

【コマンドの例】

```
# setup management http disable
# setup management snmp agent enable version v1v2 get buffalo set
melco01
# setup management snmp trap enable comm foobar manager mng.
enterprise.com
```

setup show status

setup設定情報を表示します。

【コマンドの構文】

setup show status

【パラメーター】

なし

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Reference Mode、Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# setup show status
```

setup show config

setup設定内容を表示します。

【コマンドの構文】

setup show config

【パラメーター】

なし

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Reference Mode、Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# setup show config
```

setup authuser add

内蔵RADIUSサーバー認証に使用するユーザー情報を登録します。

【コマンドの構文】

setup authuser add <username> <passwd>
setup authuser add <username>
setup authuser add

【パラメーター】

<username>	ユーザー名を4～16文字で指定します。
<passwd>	パスワードを6～32文字で設定します。

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N

【対応バージョン】

Ver.2.54以降

【コマンドの例】

```
# setup authuser add buffalo 123456
# setup authuser add wapm
# setup authuser add
```

setup authuser delete

内蔵RADIUSサーバー認証に使用するユーザー情報を削除します。

【コマンドの構文】

setup authuser delete <username>
setup authuser delete <username> force
setup authuser delete all

【パラメーター】

<username>	ユーザー名を4～16文字で指定します。

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N

【対応バージョン】

Ver.2.54以降

【コマンドの例】

```
# setup authuser delete buffalo
# setup authuser delete wapm force
# setup authuser delete all
```

setup authuser password

内蔵RADIUSサーバー認証に使用するユーザー情報のパスワードを変更します。

【コマンドの構文】

setup authuser password <username> <newpasswd>

【パラメーター】

<username>	ユーザー名を4～16文字で指定します。
<newpasswd>	新しいパスワードを6～32文字で設定します。

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N

【対応バージョン】

Ver.2.54以降

【コマンドの例】

```
# setup authuser password buffalo 654321
```

ipコマンド

ip [subnet | lan] add

サブネットの追加やサブネットのIPアドレスを設定します。
(dhcpを設定すると、サブネットのIPアドレスをDHCPサーバーから取得します)

【コマンドの構文】

ip [subnet | lan] add name <sn-name> type <sn-type> vlan <vlanid> address [<address>/<maskbit> | <address>/<maskip> | dhcp]
ip [subnet | lan] add name <sn-name> type <sn-type> vlan <vlanid> address pppoe user <username> pass <password> link <linkmode> keepalive <keepalive-mode>

【パラメーター】

<sn-name>	サブネットの名称を設定します。(1～32文字)
<sn-type>	サブネットの種別を設定します。 mgmt　管理サブネット lan　LANサブネット inet　Internetサブネット
<vlanid>	サブネットに属するVLAN IDを指定します。(0～4094)
<address>	サブネットのLAN側IPアドレスを設定します。
<maskbit>	サブネットのLAN側IPネットマスクビットを設定します。(1～30)
<maskip>	サブネットのLAN側IPネットマスクを以下の形式から設定します。 128.0.0.0、192.0.0.0、224.0.0.0、240.0.0.0、248.0.0.0、252.0.0.0、254.0.0.0、255.0.0.0、255.128.0.0、255.192.0.0、255.224.0.0、255.240.0.0、255.248.0.0、255.252.0.0、255.254.0.0、255.255.0.0、255.255.128.0、255.255.192.0、255.255.224.0、255.255.240.0、255.255.248.0、255.255.252.0、255.255.254.0、255.255.255.0、255.255.255.128、255.255.255.192、255.255.255.224、255.255.255.240、255.255.255.248、255.255.255.252
<username>	PPPoE接続のための接続先ユーザー名を設定します。(1～64文字)
<password>	PPPoE接続のための接続先パスワードを設定します。(1～64文字)
<linkmode>	PPPoE接続の接続方式を設定します。 alltime　常時接続
<keepalive-mode>	PPPoEセッションのキープアライブの手法を設定します。 disable　無効 lcp　有効

【デフォルト設定】

サブネット名　：Management
サブネットの種別　：管理サブネット
VLAN ID　：1
IP アドレス　：DHCPクライアント

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.50以降

【コマンドの例】

```
# ip subnet add name Management type mgmt vlan 5 address
192.168.201.100/24
# ip subnet add name "Quarantine VLAN" type lan vlan 4000 address dhcp
# ip subnet add name Secondary_ISP type inet vlan 30 address pppoe
user aaa00001 pass 10000aaa link alltime keepalive lcp
```

ip subnet delete

サブネットを削除します。

【コマンドの構文】

ip subnet delete [name <sn-name> | num <sn-num>] [force | null]

【パラメーター】

<sn-name>　サブネットの名称を設定します。（1～32文字）
<sn-num>　サブネットの番号を指定します。

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.50以降

【コマンドの例】

```
# ip subnet name local-network delete
```

ip subnet rename

サブネット名を変更します。

【コマンドの構文】

ip subnet rename [name <sn-name>｜num <sn-num>] <new-sn-name>

【パラメーター】

<sn-name>	サブネットの名称を設定します。(1～32文字)
<sn-num>	サブネットの番号を指定します。
<new-sn-num>	新しいサブネットの名称を設定します。(1～32文字)

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.50以降

【コマンドの例】

```
# ip subnet rename name Management “EDP Administrates Network”
# ip subnet rename num 1 “No.1 Network”
```

ip lan address

本製品のLAN側IPアドレスを設定します。
(dhcpを設定すると、本製品のIPアドレスをDHCPサーバーから取得します)

【コマンドの構文】

ip lan address [<address>/<maskbit>｜<address>/<maskip>｜dhcp] [force]
ip [subnet｜lan] [name <sn-name>｜num <sn-num>] address [<address>/<maskbit>｜<address>/<maskip>｜dhcp] [force]
ip [subnet｜lan] [name <sn-name>｜num <sn-num>] address pppoe user <username> pass <password> link <linkmode> keepalive <keepalive-mode> [force]

【パラメーター】

<address>	本製品のLAN側IPアドレスを設定します。
<maskbit>	本製品のLAN側IPネットマスクビットを設定します。(1～30)

<maskip>	本製品のLAN 側IP ネットマスクを以下の形式から設定します。 128.0.0.0、192.0.0.0、224.0.0.0、240.0.0.0、248.0.0.0、 252.0.0.0、254.0.0.0、255.0.0.0、255.128.0.0、 255.192.0.0、255.224.0.0、255.240.0.0、255.248.0.0、 255.252.0.0、255.254.0.0、255.255.0.0、255.255.128.0、 255.255.192.0、255.255.224.0、255.255.240.0、 255.255.248.0、255.255.252.0、255.255.254.0、 255.255.255.0、255.255.255.128、255.255.255.192、 255.255.255.224、255.255.255.240、255.255.255.248、 255.255.255.252
<sn-name>	サブネットの名称を設定します。(1〜32文字)
<sn-num>	サブネットの番号を指定します。
<username>	PPPoE接続のための接続先ユーザー名を設定します。 (1〜64文字)
<password>	PPPoE接続のための接続先パスワードを設定します。 (1〜64文字)
<linkmode>	PPPoE接続の接続方式を設定します。 alltime　常時接続
<keepalive-mode>	PPPoEセッションのキープアライブの手法を設定します。 disable　無効 lcp　有効

【デフォルト設定】

192.168.11.100(255.255.255.0)

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.00以降

【コマンドの例】

```
# ip lan address 10.0.0.100/8
# ip lan address 192.168.30.28/255.255.255.0
# ip lan address dhcp
# ip lan address dhcp force
```

ip lan vlan

本製品のVLAN IDを設定します。

【コマンドの構文】

ip lan vlan <id> [force]
ip [subnet | lan] [name <sn-name> | num <sn-num>] vlan <id> [force]

【パラメーター】

<id>	VLAN IDを設定します。(0〜4094)
<sn-name>	サブネットの名称を設定します。(1〜32文字)
<sn-num>	サブネットの番号を指定します。

【デフォルト設定】

1

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.00以降

【コマンドの例】

```
# ip lan vlan 20
# ip lan vlan 50 force
```

ip defaultgw

管理サブネットが持つデフォルトゲートウェイの手動設定、またはデフォルト経路を設定します。
(設定したデフォルトゲートウェイアドレスを削除する場合は、clear を入力します)

【コマンドの構文】

ip defaultgw [<gateway> | clear] [force]
ip defaultgw [name <sn-name> | num <sn-name>] [force]

【パラメーター】

<gateway>	デフォルトゲートウェイアドレスを入力します。
<sn-name>	サブネットの名称を設定します。(1〜32文字)
<sn-num>	サブネットの番号を指定します。

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# ip defaultgw 192.168.0.250
# ip defaultgw clear
# ip defaultgw 192.168.0.250 force
# ip defaultgw clear force
# ip defaultgw Internet
# ip defaultgw 192.168.0.250 force
```

ip [subnet | lan] nexthop

サブネットが持つデフォルトゲートウェイの設定をします。
(デフォルトゲートウェイアドレスを自動取得する場合は、autoを入力します)

【コマンドの構文】

ip [subnet | lan] nexthop [name <sn-name> | num <sn-name>] [<gateway> | auto] [force]

【パラメーター】

<sn-name>	サブネットの名称を設定します。(1～32文字)
<sn-num>	サブネットの番号を指定します。
<gateway>	指定したサブネットのデフォルトゲートウェイを設定します。

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.50以降

【コマンドの例】

```
# ip subnet internet-gateway nexthop 10.10.10.254
# ip subnet management nexthop auto
```

ip subnet show status

サブネットの設定情報を表示します。

【コマンドの構文】

ip subnet show status

【パラメーター】

なし

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Reference Mode、Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.50以降

【コマンドの例】

```
# ip subnet show status
```

ip subnet show config

サブネットの設定内容を表示します。

【コマンドの構文】

ip subnet show config

【パラメーター】

なし

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Reference Mode、Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.50以降

【コマンドの例】

```
# ip subnet show config
```

ip dns

管理サブネットのDNSサーバーのアドレスを設定します。
(DNS サーバーのアドレスは、primaryおよびsecondaryが設定できます。また、設定したDNSサーバーアドレスを削除する場合は、clearを入力します)

【コマンドの構文】

ip dns [primary | secondary] [<dnsserver> | clear]

【パラメーター】

<dnsserver> DNSサーバーのIPアドレスを入力します。

【デフォルト設定】

primary、secondary共になし

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# ip dns primary 10.10.0.127
# ip dns secondary clear
```

ip [subnet | lan] dns

サブネットのDNSサーバーのアドレスを設定します。
(DNSサーバーのアドレスは、primaryおよびsecondaryが設定できます。また、設定したDNSサーバーアドレスを自動取得または削除する場合は、clearを入力します)

【コマンドの構文】

ip [subnet | lan] [name <sn-name> | num <sn-num>] dns [primary | secondary] [<dnsserver> | clear]

【パラメーター】

<sn-name>	サブネットの名称を設定します。(1〜32文字)
<sn-num>	サブネットの番号を指定します。
<dnsserver>	DNSサーバーのIPアドレスを入力します。

【デフォルト設定】

primary、secondary 共になし

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.50以降

【コマンドの例】

```
# ip subnet default-router-if dns primary 10.10.0.127
# ip subnet Management dns secondary clear
```

ip [subnet | lan] mtu

サブネットのMTU 値を設定します。
(MTU 値を出荷時設定値に戻す場合は、defaultを入力します)

【コマンドの構文】

ip [subnet | lan] [name <sn-name> | num <sn-num>] mtu [<mtu> | default]

【パラメーター】

<sn-name>	サブネットの名称を設定します。(1〜32文字)
<sn-num>	サブネットの番号を指定します。
<mtu>	サブネットインターフェースのMTUを指定します。 (576〜1500)

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.50以降

【コマンドの例】

```
# ip subnet name Management mtu 1454
# ip subnet name Internet mtu default
```

ip [subnet | lan] upnp

サブネットのUPnP設定をおこないます。

【コマンドの構文】

ip [subnet | lan] [name <sn-name> | num <sn-num>] upnp igd [<state>]

【パラメーター】

<sn-name>		サブネットの名称を設定します。(1～32文字)
<sn-num>		サブネットの番号を指定します。
<state>	enable	UPnP IGDによる制御･広報を有効にします。
	disable	UPnP IGDによる制御･広報を無効にします。

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.50以降

【コマンドの例】

```
# ip subnet name Management upnp igd enable
# ip subnet name Internet upnp igd disable
```

ip dhcp-server lease

サブネットのDHCPサーバー設定をおこないます。
(DHCPサーバー機能を使用する場合はserver、使用しない場合はnone、DHCP Relay機能を使用する場合はrelayを入力します)

【コマンドの構文】

ip dhcp-server lease [name <sn-name> | num <sn-num>] mode [none | relay | server from <lease-from-addr> num <lease-range-num> [exclude <excluderange>]]

【パラメーター】

<sn-name>	サブネットの名称を設定します。(1～32文字)
<sn-num>	サブネットの番号を指定します。
<lease-from-addr>	DHCPサーバーが配布するアドレス範囲の開始アドレスを設定します。
<lease-range-num>	DHCPサーバーが配布するアドレス範囲に含まれるアドレスの数を設定します。
<exclude-range>	DHCPサーバーが配布するアドレスから除外するアドレスを設定します。

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.50以降

【コマンドの例】

```
# ip dhcp-server lease name Management mode server from 192.168.11.11
num 16 exclude 192.168.11.12-192.168.11.20,192.168.11.23
# ip dhcp-server lease name Quarantine-Net mode relay
# ip dhcp-server lease num 3 mode none
```

ip dhcp-server relay

DHCP Relayサーバーを指定します。

【コマンドの構文】

ip dhcp-server relay server <relay-server-name>

【パラメーター】

<relay-server-name>　リレーサーバーのIPアドレスまたはホスト名を指定します。

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.50以降

【コマンドの例】

```
# ip dhcp-server relay server enterprise-server.edp.enterprise.com
```

ip dhcp-server option

DHCPサーバー機能利用時に使用されるパラメーターを設定します。

【コマンドの構文】

ip dhcp-server option lease-time <hour-time>
ip dhcp-server option notify [auto | fixed <domain-name>]

【パラメーター】

<hour-time>　リース時間を設定します。(1〜720時間)
<domain-name>　通知するドメイン名を指定します。(1〜64文字)
ドメイン名を指定せずに、自動的に選択する場合は、autoを入力します。

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.50以降

【コマンドの例】

```
# ip dhcp-server option lease-time 720
# ip dhcp-server option notify domain fixed guestnet.airstation.com
```

ip dhcp-server reserve

本製品のDHCPサーバー機能によって割り当てるIPアドレスの予約設定をおこないます。

【コマンドの構文】

ip dhcp-server reserve [add | del] [name <sn-name> | num <sn-num>] ip <ipaddr>
ip dhcp-server reserve [add | del] list-num <list-number>

【パラメーター】

<sn-name>	サブネットの名称を設定します。(1〜32文字)
<sn-num>	サブネットの番号を指定します。
<ip-addr>	手動リースするIPアドレスを入力します。
<list-number>	登録・削除を行うIPアドレスのエントリー番号を指定します。

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.50以降

【コマンドの例】

```
# ip dhcp-server reserve add name BUFFALO ip 192.168.11.123
# ip dhcp-server reserve del list-num 3
```

ip dhcp-server show status

DHCPサーバー機能に関する情報を表示します。

【コマンドの構文】

ip dhcp-server show status

【パラメーター】

なし

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Reference Mode、Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.50以降

【コマンドの例】

```
# ip dhcp-server show status
```

ip dhcp-server show config

DHCPサーバー機能の設定内容を表示します。

【コマンドの構文】

ip dhcp-server show config

【パラメーター】

なし

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Reference Mode、Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.50以降

【コマンドの例】

```
# ip dhcp-server show config
```

ip routing rip

動的経路（rip）を設定します。

【コマンドの構文】

ip routing rip <version> <direction> lan <state>
ip routing rip <version> <direction> [subnet name <sn-name>｜subnet num <snnum>] <state>

【パラメーター】

<version>	v1	RIPv1を設定します。
	v2	RIPv2を設定します。
<direction>	send	送信を指定します。
	recv	受信を指定します。
<state>	enable	経路設定を有効にします。
	disable	経路設定を無効にします。
<sn-name>		サブネットの名称を設定します。（1～32文字）
<sn-num>		サブネットの番号を指定します。

【デフォルト設定】

RIP v1（受信）およびRIP v2（受信）が有効

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30 以降

【コマンドの例】

```
# ip routing rip v1 recv lan enable
# ip routing rip v2 send subnet name Network2 enable
```

ip routing subnet

サブネットにおけるルーティングオプションを設定します。

【コマンドの構文】

ip routing subnet [subnet name <sn-name>｜subnet num <sn-num>] forwarding [disable｜enable napt [none｜outbound]]

【パラメーター】

<sn-name>	サブネットの名称を設定します。（1～32文字）
<sn-num>	サブネットの番号を指定します。

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.50以降

【コマンドの例】

```
# ip routing subnet num 3 forwarding enable napt outbound
# ip routing subnet name “Enterprise VPN” forwarding enable napt none
```

ip routing static

静的経路を設定します。

【コマンドの構文】

ip routing static add <address>/<maskbit> gw <gateway> metric <metric>
ip routing static add <address>/<maskip> gw <gateway> metric <metric> entry <entry>
ip routing static del [entry <entry> | <address>/[<maskbit> | <maskip>]]
ip routing static move <fromentry> to <toentry>

【パラメーター】

<address>	本製品のLAN側IPアドレスを設定します。
<maskbit>	本製品のLAN側IPネットマスクビットを設定します。(1～30)
<maskip>	本製品のLAN側IPネットマスクを以下の形式から設定します。 128.0.0.0、192.0.0.0、224.0.0.0、240.0.0.0、248.0.0.0、252.0.0.0、254.0.0.0、255.0.0.0、255.128.0.0、255.192.0.0、255.224.0.0、255.240.0.0、255.248.0.0、255.252.0.0、255.254.0.0、255.255.0.0、255.255.128.0、255.255.192.0、255.255.224.0、255.255.240.0、255.255.248.0、255.255.252.0、255.255.254.0、255.255.255.0、255.255.255.128、255.255.255.192、255.255.255.224、255.255.255.240、255.255.255.248、255.255.255.252、255.255.255.255
<metric>	経路のメトリックを設定します。(1～15)
<entry>	経路のエントリー番号を設定します。
<fromentry>	挿入元のエントリー番号を設定します。
<toentry>	挿入先のエントリー番号を設定します。

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# ip routing static add 10.168.100.0/255.255.255.0 gw 192.168.11.1
metric 10
# ip routing static add 10.168.200.0/24 gw 192.168.11.2 metric 10
entry 1
# ip routing static del entry 1
```

ip routing show status

経路設定情報を表示します。

【コマンドの構文】

ip routing show status

【パラメーター】

なし

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Reference Mode、Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# ip routing show status
```

ip routing show config

経路設定内容を表示します。

【コマンドの構文】

ip routing show config

【パラメーター】

なし

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Reference Mode、Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# ip routing show config
```

ip filtering template

簡易フィルターの設定を行います。

【コマンドの構文】

ip filtering template <entry> <state>

【パラメーター】

<entry>	簡易フィルターのテンプレート番号を設定します。	
<state>	enable	フィルターを有効にします。
	disable	フィルターを無効にします。

【デフォルト設定】

無効

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# ip filtering template 3 enable
# ip filtering template 1 disable
```

ip filtering log

簡易フィルターのログ出力を設定します。

【コマンドの構文】

ip filtering log <state>

【パラメーター】

<state>	enable	ログ出力を有効にします。
	disable	ログ出力を無効にします。

【デフォルト設定】

無効

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# ip filtering log enable
```

ip proxyarp

ProxyArpの設定を行います。

【コマンドの構文】

ip proxyarp [enable [aging <agingtime>] | disable]

【パラメーター】

<agingtime> ARP 情報を保持する時間を設定します。(60～86400(秒))

【デフォルト設定】

無効

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# ip proxyarp enable aging 600
```

ip show status

IP 設定状態を表示します。

【コマンドの構文】

ip show status

【パラメーター】

なし

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Reference Mode、Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# ip show status
```

ip show config

IP 設定内容を表示します。

【コマンドの構文】

ip show config

【パラメーター】

なし

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Reference Mode、Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# ip show config
```

etherコマンド

ether port N link

有線ポートの有効/ 無効を設定します。

【コマンドの構文】

ether port <N> link <state>

【パラメーター】

<N>	有線ポートの番号を入力します。(1〜4)	
<state>	enable	有線ポートを有効にします。
	disable	有線ポートを無効にします。

【デフォルト設定】

すべて有効

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54
(WAPM-APG300N、WAPM-AG300Nでは、有線ポート番号を1以外に指定できません)

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# ether port 1 link enable
```

ether port N media

有線ポートのPHY設定を行います。

【コマンドの構文】

ether port <N> media mdi <mdi> speed auto [flowctl <flowctl>]
ether port <N> media mdi <mdi> speed <speed> duplex <duplex> [flowctl <flowctl>]

【パラメーター】

<N>	有線ポートの番号を入力します。(1～4)	
<mdi>	auto	自動認識に設定します。
	normal	ストレートに設定します。
	reverse	クロスに設定します。
<speed>	auto	自動認識に設定します。
	10	10Mbpsに設定します。
	100	100Mbpsに設定します。
	1000	1000Mbpsに設定します。
<duplex>	full	全二重に設定します。
	half	半二重に設定します。
<flowctl>	enable	フローコントロールを有効にします。
	disable	フローコントロールを無効に設定します。

【デフォルト設定】

(すべてのポートで同じ設定) mdi: auto、speed: auto、flowctl: enable

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54
(WAPM-HP-AM54G54では、1000Mbpsに設定できません)

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# ether port 1 media mdi auto speed 100 duplex full
# ether port 4 media mdi reverse speed auto
# ether port 2 media mdi auto speed auto flowctl disable
```

ether port N vlan mode

有線ポートのVLAN設定を行います。

【コマンドの構文】

ether port <N> vlan mode [tagged | untagged vlan <pvid>]

【パラメーター】

<N>	有線ポートの番号を入力します。(1～ 4)
<pvid>	VLAN ID を設定します。(0～4094)

【デフォルト設定】

(すべてのポートで同じ設定)　pvid: 1、untagged

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54
(WAPM-APG300N、WAPM-AG300Nでは、有線ポート番号を1以外に指定できません)

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# ether port 1 vlan mode untagged vlan 445
```

ether show status

有線ポートのVLAN 設定状態を表示します。

【コマンドの構文】

ether show status

【パラメーター】

なし

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Reference Mode、Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# ether show status
```

ether show config

有線ポートのVLAN設定内容を表示します。

【コマンドの構文】

ether show config

【パラメーター】

なし

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Reference Mode、Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# ether show config
```

airsetコマンド

airset linkitg

Link Integrityの設定を行います。

【コマンドの構文】

airset linkitg enable host <host> interval <interval> retry <num>
airset linkitg disable

【パラメーター】

<host>	IPアドレス形式またはホスト名を入力します。
<interval>	確認回数を入力します。(2～999)
<num>	再確認回数を入力します。(1～99)

【デフォルト設定】

無効

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# airset linkitg enable host 10.0.0.2 interval 5 retry 5
```

airset linkitg action

Link Integrity切断時の動作設定を行います。

【コマンドの構文】

airset linkitg action ether <N> [none｜disable｜enable]
airset linkitg action ssid [name <ssidname>｜num <ssidnum>] [none｜disable | enable]
airset subnet action subnet [<sn-name>｜<sn-num>] [none｜disable｜enable]

【パラメーター】

<N>	有線ポートの番号を入力します。
<ssid>	設定対象のSSIDを指定します。(1～32文字)
<ssidnum>	設定対象のSSIDの番号を指定します。

	(airset ssid show コマンドで表示された番号から選択します)
<sn-name>	サブネットの名称を設定します。(1～32文字)
<sn-num>	サブネットの番号を指定します。
none	切断時に何も行いません。
disable	切断時にポートを無効にします。(ether) 切断時にSSIDを無効にします。(ssid) 切断時にルーター機能を無効にします。(subnet)
enable	切断時にポートを有効にします。(ether) 切断時にSSIDを有効にします。(ssid) 切断時にルーター機能を有効にします。(subnet)

【デフォルト設定】

無効

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.52以降

【コマンドの例】

```
# airset linkitg action ether 1 disable
# airset linkitg action ssid name “ssid_psk” enable
# airset linkitg action subnet num 2 disable
```

airset linkitg show status

Link Integrityの情報の表示を行います。

【コマンドの構文】

airset linkitg show status

【パラメーター】

なし

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Reference Mode、Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# airset linkitg show status
```

airset linkitg show config

Link Integrityの設定内容を表示します。

【コマンドの構文】

airset linkitg show config

【パラメーター】

なし

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Reference Mode、Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# airset linkitg show config
```

airset aoss [start | stop]

AOSSモードを開始、終了します。

【コマンドの構文】

airset aoss <action> [force]

【パラメーター】

<action>	start	AOSS モードを開始します。
	stop	AOSS モードを終了します。

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Immediate Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# airset aoss start
# airset aoss stop
# airset aoss start force
# airset aoss stop force
```

airset aoss cipher [11a | 11g]

AOSSモードの暗号化レベルを変更します。

【コマンドの構文】

airset aoss cipher [11a | 11g] <cipher-level>

【パラメーター】

<cipher-level>	aes	暗号化レベルをAESに設定します。
	tkip	暗号化レベルをTKIPに設定します。
	wep128	暗号化レベルをWEP128に設定します。
	wep64	暗号化レベルをWEP64に設定します。

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# airset aoss cipher 11a tkip
# airset aoss cipher 11g wep64
```

airset aoss ssid-security [11a | 11g]

AOSSモードの暗号化レベルを変更します。

【コマンドの構文】

airset aoss ssid-security [wep | tkip] cipher [11a | 11g] <cipher-level>

【パラメーター】

<cipher-level>	WEP専用SSIDの場合	
	wep128	暗号化レベルをWEP128に設定します。
	wep64	暗号化レベルをWEP64に設定します。
	none	暗号化なしに設定します。
	TKIP専用SSIDの場合	
	tkip	暗号化レベルをTKIPに設定します。
	mixed	暗号化レベルをmixed-modeに設定します。

【デフォルト設定】

WEP専用SSID：none　TKIP専用SSID：mixed

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N

【対応バージョン】

Ver.2.40以降

【コマンドの例】

```
# airset aoss ssid-security wep cipher 11a wep128
# airset aoss ssid-security tkip cipher 11g mixed
```

airset aoss vlan

AOSSモードのVLANを設定します。

【コマンドの構文】

airset aoss vlan [11a | 11g] [aes_tkip | wep] vlanid <vid>

【パラメーター】

<vid> VLAN IDを設定します。(0～4094)

【デフォルト設定】

すべて1

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.40以降

【コマンドの例】

```
# airset aoss vlan 11a aes_tkip vlanid 2
# airset aoss vlan 11g wep vlanid 100
```

airset aoss hwswitch

AOSSのハードウェアスイッチの制御を行います。

【コマンドの構文】

airset aoss hwswitch <state>

【パラメーター】

<state>	enable	AOSSのハードウェアスイッチを有効にします。
	disable	AOSSのハードウェアスイッチを無効にします。

【デフォルト設定】

有効

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# airset aoss hwswitch disable
```

airset aoss devicekeys

AOSSキー交換時に配布するデバイスのキーを指定します。

【コマンドの構文】

airset aoss devicekeys <wireless>

【パラメーター】

<wireless>	all	11a、11gともにキーを配布します。
	11a	11aのみキーを配布します。
	11g	11gのみキーを配布します。

【デフォルト設定】

all

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# airset aoss devicekeys 11g
```

airset aoss station permission

AOSS接続された登録クライアントの許可・拒否を設定します。

【コマンドの構文】

airset aoss station permission [num <sta-num> | address <macaddress>]
<permission>

【パラメーター】

<sta-num>	クライアントの番号を指定します。 (airset aoss showコマンドで表示された番号から選択します)
<macaddress>	クライアントのMACアドレスを指定します。 (airset aoss showコマンドで表示された番号から選択します)
<permission>	allow　クライアントの接続を許可します。 deny　クライアントの接続を拒否します。

【デフォルト設定】

allow

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# airset aoss station permission num 4 deny
# airset aoss station permission address 12:34:56:78:90:AB allow
```

airset aoss station delete

AOSS接続された登録クライアントを削除します。

【コマンドの構文】

airset aoss station delete [num <sta-num>｜address <macaddress>]

【パラメーター】

<sta-num>	クライアントの番号を指定します。 （airset aoss showコマンドで表示された番号から選択します）
<macaddress>	クライアントのMACアドレスを指定します。 （airset aoss showコマンドで表示された番号から選択します）

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# airset aoss station delete num 4
# airset aoss station delete address 12:34:56:78:90:AB
```

airset aoss show status

AOSS 接続されたクライアントのリストを表示します。

【コマンドの構文】

airset aoss show status

【パラメーター】

なし

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Reference Mode、Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# airset aoss show status
```

airset aoss show config

AOSS 設定内容を表示します。

【コマンドの構文】

airset aoss show config

【パラメーター】

なし

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Reference Mode、Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# airset aoss show config
```

airset wps [enable | disable]

WPS機能の有効/無効を設定します。

【コマンドの構文】

airset wps <state>

【パラメーター】

<state>	enable	WPS機能を有効にします。
	disable	WPS機能を無効にします。

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N

【対応バージョン】

Ver.2.40以降

【コマンドの例】

```
# airset wps disable
```

airset wps [start | stop]

WPS(プッシュボタン方式)のキー交換を開始、終了します。

【コマンドの構文】

airset aoss <action> [force]

【パラメーター】

<action>	start	キー交換を開始します。
	stop	キー交換を終了します。

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Immediate Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N

【対応バージョン】

Ver.2.40以降

【コマンドの例】

```
# airset wps start
# airset wps stop
# airset wps start force
# airset wps stop force
```

airset wps external-registrar

WPSの外部Registrarからの要求受付の有効/無効を設定します。

【コマンドの構文】

airset wps external-registrar <state>

【パラメーター】

<state>	enable	外部Registrarからの要求を受け付けます。
	disable	外部Registrarからの要求を受け付けません。

【デフォルト設定】

enable

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N

【対応バージョン】

Ver.2.40以降

【コマンドの例】

```
# airset wps external-registrar disable
```

airset wps create pincode

WPSのPINコードを生成します。

【コマンドの構文】

airset wps create pincode

【パラメーター】

なし

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N

【対応バージョン】

Ver.2.40以降

【コマンドの例】

```
# airset wps create pincode
```

airset wps start enrollee pincode

WPSのEnrolleeのPINコードを入力します。

【コマンドの構文】

airset wps start enrollee pincode <code>

【パラメーター】

<code> EnrolleeのPINコードを入力します。(0〜99999999)

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Immediate Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N

【対応バージョン】

Ver.2.40以降

【コマンドの例】

```
# airset wps start enrollee pincode 12345678
```

airset wps show status

WPSの無線セキュリティー状態を表示します。

【コマンドの構文】

airset wps show status

【パラメーター】

なし

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Reference Mode、Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N

【対応バージョン】

Ver.2.40以降

【コマンドの例】

```
# airset wps show status
```

airset wps show config

WPS設定内容を表示します。

【コマンドの構文】

airset wps show config

【パラメーター】

なし

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Reference Mode、Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N

【対応バージョン】

Ver.2.40以降

【コマンドの例】

```
# airset wps show config
```

airset maclist add

MAC アドレス制限リストの登録をします。

【コマンドの構文】

airset maclist add <macaddress>

【パラメーター】

<macaddress>　リストに登録するMACアドレスを入力します。

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# airset maclist add 00:11:22:1a:2b:3c
```

airset maclist delete

MACアドレス制限リストの登録を削除します。

【コマンドの構文】

airset maclist delete [address <macaddress>｜num <list-number>｜all] [force]

【パラメーター】

<macaddress>	リストから削除するMACアドレスを指定します。 （airset maclist showコマンドで表示されたMACアドレスから選択します）
<list-number>	削除するMACアドレスのリスト番号を指定します。 （airset maclist showコマンドで表示された番号から選択します）

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# airset maclist delete num 43
# airset maclist delete 00:11:22:1a:2b:3c
# airset maclist delete all
# airset maclist delete all force
```

airset maclist show status

MACアドレス制限リストを表示します。

【コマンドの構文】

airset maclist show status

【パラメーター】

なし

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Reference Mode、Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# airset maclist show status
```

airset maclist show config

MACアドレス制限リストの設定内容を表示します。

【コマンドの構文】

airset maclist show config

【パラメーター】

なし

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Reference Mode、Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# airset maclist show config
```

airset acl add

「airset maclist add」(P77)と同等のコマンドです。書式やパラメーターについては、「airset maclist add」(P77)を参照してください。

airset acl delete

「airset maclist delete」(P78)と同等のコマンドです。書式やパラメーターについては、「airset maclist delete」(P78)を参照してください。

airset acl show status

「airset maclist show status」(P78)と同等のコマンドです。書式やパラメーターについては、「airset maclist show status」(P78)を参照してください。

airset acl show config

「airset maclist show config」(P79)と同等のコマンドです。書式やパラメーターについては、「airset maclist show config」(P79)を参照してください。

airset [11a｜11g] wireless

無線機能(11a/11g)の有効/無効を設定します。

【コマンドの構文】

airset <media> wireless <state>

【パラメーター】

<media>	11a	802.11aの無線機能の有効/無効を設定します。
	11g	802.11gの無線機能の有効/無効を設定します。
<state>	enable	無線機能を有効にします。
	disable	無線機能を無効にします。

【デフォルト設定】

11a/11gともに無効

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# airset 11a wireless disable
# airset 11g wireless enable
```

airset [11a｜11g] ssid add

マルチSSIDの登録を行います。

【コマンドの構文】

airset <media> ssid add ssidname <ssid> vlanid <vid> auth <auth> cipher <cipher> [[authmac｜authpass <authpass>] [fixed keytype <keytype> transmit <keyslot> key <keystring>] [rekey <interval> [key <psk>]]]

＜認証を行わない＞
airset <media> ssid add ssidname <ssid> vlanid <vid> auth none cipher wep fixed keytype <keytype> transmit <keyslot> key <keystring>

＜MAC RADIUS認証＞
airset <media> ssid add ssidname <ssid> vlanid <vid> auth macradius [authmac｜authpass <authpass>] cipher wep fixed keytype <keytype> transmit <keyslot> key <keystring>

＜802.1x/EAP認証＞
airset <media> ssid add ssidname <ssid> vlanid <vid> auth eap cipher wep rekey <interval> key <length> [addkey [enable fixedkey <fixedkey>｜disable]]

＜EAP認証＞（WAPM-HP-AM54G54）
airset <media> ssid add ssidname <ssid> vlanid <vid> auth [wpaeap｜wpa2eap] cipher aes rekey <interval>

＜PSK認証＞（WAPM-HP-AM54G54）
airset <media> ssid add ssidname <ssid> vlanid <vid> auth [wpaeap｜wpa2eap] cipher aes rekey <interval> key <psk>

＜EAP認証＞（WAPM-APG300N、WAPM-AG300N）
airset <media> ssid add ssidname <ssid> vlanid <vid> auth [wpaeap｜wpa2eap] cipher [aes｜tkip] rekey <interval>
airset <media> ssid add ssidname <ssid> vlanid <vid> auth wpa2mixedeap cipher mixed rekey <interval>

＜PSK認証＞（WAPM-APG300N、WAPM-AG300N）
airset <media> ssid add ssidname <ssid> vlanid <vid> auth [wpaeap｜wpa2eap] cipher [aes｜tkip] rekey <interval> key <psk>
airset <media> ssid add ssidname <ssid> vlanid <vid> auth wpa2mixedeap cipher mixed rekey <interval> key <psk>

【パラメーター】

<media>	11a	802.11aのSSIDを設定します。
	11g	802.11gのSSIDを設定します。
<ssid>	登録するSSIDを入力します。（1～32文字）	
<vid>	VLAN IDを入力します。（0～4094）	

<auth>	認証方式を以下の中から指定します。		
	none	認証を行いません。	
	macradius	MAC RADIUS認証を行います。	
	eap	EAP認証を行います。	
	wpaeap	WPA-EAP認証を行います。	
	wpapsk	WPA-PSK認証を行います。	
	wpa2eap	WPA2-EAP認証を行います。	
	wpa2psk	WPA2-PSK認証を行います。	
	wpa2mixedeap	WPA-EAP、WPA2-EAPの認証を同時に行います。	
	wpa2mixedpsk	WPA-PSK、WPA2-PSKの認証を同時に行います。	
<cipher>	暗号化方式を以下の中から指定します。		
	wep	暗号化方式にWEPを指定します。	
	tkip	暗号化方式にTKIPを指定します。	
	aes	暗号化方式にAESを指定します。	
	mixed	暗号化方式にTKIPとAESを指定します。	
authmac	MAC RADIUS認証パスワードにMACアドレスを使用します。		
authpass	MAC RADIUS認証パスワードにパスワードを設定します。		
addkey	WEP(固定Key)の併用を行うかどうかを設定します。		
	enable	WEP(固定Key)の併用を行います。	
	disable	WEP(固定Key)の併用を行いません。	
<interval>	Key更新間隔(分)を設定します。		
<length>	自動更新するKeyのlengthを設定します。(64または128)		
<fixedkey>	WEP固定Keyを指定します。		
<keyslot>	Txkeyスロット番号を設定します。		
<keystring>	transmit引数で指定したスロットの暗号化キーを設定します。		
<keytype>	WEPキーの種別を以下の中から指定します。		
	ascii64	WEPキーを文字で指定します。(5文字)	
	ascii128	WEPキーを文字で指定します。(13文字)	
	hex64	WEPキーを16進数で指定します。(10桁)	
	hex128	WEPキーを16進数で指定します。(26桁)	

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# airset 11g ssid add ssidname buffalo none cipher wep fixed keytype
ascii128 transmit 1 key abcdefghijklm
# airset 11a ssid add ssidname buffalo-wapm auth wpa2 cipher aes
rekey 60 key 1234567890
# airset 11a ssid add ssidname wapm-apg300n auth wpa2mixedeap cipher
mixed rekey 60 key 9876543210
```

airset [11a｜11g] ssid [enable｜disable]

マルチSSIDの有効/無効を設定します。

【コマンドの構文】

airset <media> ssid <state> [ssidname <ssid>｜ssidnum <ssidnum>]

【パラメーター】

<media>	11a	802.11aのマルチSSIDの有効/無効を設定します。
	11g	802.11gのマルチSSIDの有効/無効を設定します。
<state>	enable	マルチSSIDを有効にします。
	disable	マルチSSIDを無効にします。
<ssid>	設定対象のマルチSSIDを指定します。(1～32文字)	
<ssidnum>	設定対象のマルチSSIDの番号を指定します。 (airset ssid showコマンドで表示された番号から選択します)	

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# airset 11a ssid enable ssidname buffalo
# airset 11g ssid disable ssidnum 4
```

airset [11a | 11g] ssid delete

マルチSSIDの削除を行います。

【コマンドの構文】

airset <media> ssid delete [ssidname <ssid> | ssidnum <ssidnum>]

【パラメーター】

<media>	11a	802.11aのマルチSSIDを削除します。
	11g	802.11gのマルチSSIDを削除します。
<ssid>	削除対象のマルチSSIDを指定します。(1～32文字)	
<ssidnum>	削除対象のマルチSSID の番号を指定します。 (airset ssid showコマンドで表示された番号から選択します)	

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# airset 11a ssid delete ssidname buffalo
# airset 11g ssid delete ssidnum 4
```

airset [11a | 11g] ssid rename

SSIDの名称を変更します。

【コマンドの構文】

airset <media> ssid rename [ssidname <ssid> | ssidnum <ssidnum>] <newssid>

【パラメーター】

<media>	11a	802.11aのSSIDを変更します。
	11g	802.11gのSSIDを変更します。
<ssid>	変更対象のSSIDを指定します。(1〜32文字)	
<ssidnum>	変更対象のSSIDの番号を指定します。 (airset ssid showコマンドで表示された番号から選択します)	
<newssid>	新しく設定するSSIDを指定します。(1〜32文字)	

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# airset 11a ssid rename ssidname buffalo melcohd
# airset 11g ssid rename ssidnum 4 4th task force
```

airset [11a | 11g] ssid wep

SSIDのWEP暗号化キー/送信キーを設定/削除します。

【コマンドの構文】

airset <media> ssid wep [ssidname <ssid> | ssidnum <ssidnum>] slot <keyslot> key <keystring>
airset <media> ssid wep [ssidname <ssid> | ssidnum <ssidnum>] slot transmit
airset <media> ssid wep [ssidname <ssid> | ssidnum <ssidnum>] slot delete

【パラメーター】

<media>	11a	802.11aのWEP設定を変更します。
	11g	802.11gのWEP設定を変更します。
<ssid>	設定対象のSSIDを指定します。(1～32文字)	
<ssidnum>	設定対象のSSIDの番号を指定します。(airset ssid showコマンドで表示された番号から選択します)	
<keyslot>	キーのスロット番号を指定します。(1～4)	
<keystring>	WEP暗号化キーを入力します。(5文字または13文字、10桁または26桁の16進数)	

【デフォルト設定】

keyslot：1　keystring：すべてのスロットが空欄

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# airset 11a ssid wep ssidnum 1 slot 2 key 1234567890abc
# airset 11g ssid wep ssidname buffalo slot 1 transmit
# airset 11g ssid wep ssidnum 4 slot 1 delete
```

airset [11a｜11g] ssid security

SSIDのセキュリティー設定を行います。

【コマンドの構文】

airset <media> ssid security [ssidname <ssid>｜ssidnum <ssidnum>] auth <auth> cipher <cipher> [[authmac｜authpass <authpass>] [fixed keytype <keytype> transmit <keyslot> key <keystring>] [rekey <interval> [key <psk>]]]

＜認証を行わない＞
airset <media> ssid security [ssidname <ssid>｜ssidnum <ssidnum>] auth none cipher [none｜wep fixed keytype <keytype> transmit <keyslot> key <keystring>]

＜MAC RADIUS認証＞
airset <media> ssid security [ssidname <ssid>｜ssidnum <ssidnum>] auth macradius [authmac｜authpass <authpass>] cipher wep fixed keytype <keytype> transmit <keyslot> key <keystring>

＜802.1x/EAP認証＞
airset <media> ssid security [ssidname <ssid>｜ssidnum <ssidnum>] auth eap cipher wep rekey <interval> key <length> [addkey [enable fixedkey <fixedkey>｜disable]]

＜EAP認証＞
airset <media> ssid security [ssidname <ssid> | ssidnum <ssidnum>] auth [wpaeap｜wpa2eap] cipher [aes｜tkip] rekey <interval>
airset <media> ssid security [ssidname <ssid>｜ssidnum <ssidnum>] auth wpa2mixedeap cipher mixed rekey <interval>

＜PSK認証＞
airset <media> ssid security [ssidname <ssid>｜ssidnum <ssidnum>] auth [wpaeap｜wpa2eap] cipher [aes｜tkip] rekey <interval> key <psk>
airset <media> ssid security [ssidname <ssid>｜ssidnum <ssidnum>] auth wpa2mixedeap cipher mixed rekey <interval> key <psk>

【パラメーター】

<media>	11a	802.11aのSSIDを設定します。
	11g	802.11gのSSIDを設定します。
<ssid>	設定対象のSSIDを指定します。(1～32文字)	
<ssidnum>	設定対象のSSIDの番号を指定します。 (airset ssid showコマンドで表示された番号から選択します)	

<auth>	認証方式を以下の中から指定します。	
	none	認証を行いません。
	macradius	MAC RADIUS認証を行います。
	eap	EAP認証を行います。
	wpaeap	WPA-EAP認証を行います。
	wpapsk	WPA-PSK認証を行います。
	wpa2eap	WPA2-EAP認証を行います。
	wpa2psk	WPA2-PSK認証を行います。
	wpa2mixedeap	WPA-EAP、WPA2-EAPの認証を同時に行います。
	wpa2mixedpsk	WPA-PSK、WPA2-PSKの認証を同時に行います。
<cipher>	暗号化方式を以下の中から指定します。	
	wep	暗号化方式にWEPを指定します。
	tkip	暗号化方式にTKIPを指定します。
	aes	暗号化方式にAESを指定します。
	mixed	暗号化方式にTKIPとAESを指定します。
authmac	MAC RADIUS 認証パスワードにMACアドレスを使用します。	
authpass	MAC RADIUS 認証パスワードにパスワードを設定します。	
addkey	WEP(固定Key)の併用を行うかどうかを設定します。	
	enable	WEP(固定Key)の併用を行います。
	disable	WEP(固定Key)の併用を行いません。
<interval>	Key更新間隔(分)を設定します。	
<length>	自動更新するKeyのlengthを設定します。(64または128)	
<fixedkey>	WEP固定Keyを指定します。	
<keyslot>	Txkeyスロット番号を設定します。	
<keystring>	transmit引数で指定したスロットの暗号化キーを設定します。	
<keytype>	WEPキーの種別を以下の中から指定します。	
	ascii64	WEPキーを文字で指定します。(5文字)
	ascii128	WEPキーを文字で指定します。(13文字)
	hex64	WEPキーを16進数で指定します。(10桁)
	hex128	WEPキーを16進数で指定します。(26桁)

【デフォルト設定】

keyslot: 1	keystring: すべてのスロットが空欄
keytype: ascii128	length: 128

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# airset 11a ssid security ssidname buffalo auth none cipher wep
fixed
# airset 11a ssid security ssidname buffalo auth macradius authmac
cipher wep fixed keytype wep64 transmit 1 key 1234567890123
# airset 11a ssid security ssidnum 5 auth eap cipher wep rekey
interval 4 length 64
# airset 11g ssid security ssidnum 1 auth wpa2eap cipher tkip rekey
60
# airset 11g ssid security ssidnum 1 auth wpa2mixedpsk cipher mixed
rekey 60 key 9876543210
```

airset [11a｜11g] ssid addsecurity

SSIDの追加認証設定を行います。

【コマンドの構文】

＜追加認証を行わない＞
airset <media> ssid addsecurity [ssidname <ssid>｜ssidnum <ssidnum>] mode none

＜MACアドレスリストによる制限＞
airset <media> ssid addsecurity [ssidname <ssid>｜ssidnum <ssidnum>] mode acl

＜MAC-RADIUS認証＞
airset <media> ssid addsecurity [ssidname <ssid>｜ssidnum <ssidnum>] mode macradius [authmac｜authpass <authpass>]

＜MACアドレスリスト+MAC-RADIUS認証＞
airset <media> ssid addsecurity [ssidname <ssid>｜ssidnum <ssidnum>] mode macradius+acl [authmac | authpass <authpass>]

＜Microsoft NAPによる制限＞
airset <media> ssid addsecurity [ssidname <ssid>｜ssidnum <ssidnum>] mode webauth bgvlan <vlan>

＜Microsoft NAPによる制限＞
airset <media> ssid addsecurity [ssidname <ssid>｜ssidnum <ssidnum>] mode nap bgvlan <vlan>

【パラメーター】

<media>	11a	802.11aのSSIDを設定します。
	11g	802.11gのSSIDを設定します。
<ssid>	設定対象のSSIDを指定します。(1～32文字)	
<ssidnum>	設定対象のSSIDの番号を指定します。 (airset ssid showコマンドで表示された番号から選択します)	

authmac	MAC RADIUS認証パスワードにMACアドレスを使用します。
authpass	MAC RADIU認証パスワードにパスワードを設定します。
<vlan>	制限ネットワークに利用されるVLAN IDを設定します。 （0～4094）

【デフォルト設定】

none

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.50以降

【コマンドの例】

```
# airset 11a ssid addsecurity ssidname Guest mode none
# airset 11a ssid addsecurity ssidname Guest mode acl
# airset 11a ssid addsecurity ssidnum 3 mode macradius authmac
# airset 11g ssid addsecurity ssidnum 1 mode macradius+acl authpass
"Guest0204"
# airset 11g ssid addsecurity ssidnum 11 mode webauth bgvlan 4094
# airset 11g ssid addsecurity ssidnum 11 mode nap bgvlan 990
```

airset [11a | 11g] anyscan

メインSSIDのANY拒否（Stealth SSID）機能を設定します。

【コマンドの構文】

airset <media> anyscan <state>

【パラメーター】

<media>	11a	802.11aのANY拒否機能の有効/無効を設定します。
	11g	802.11gのANY拒否機能の有効/無効を設定します。
<state>	enable	SSIDを不特定多数の機器に通知します。
	disable	SSIDを他の機器に通知しません。

【デフォルト設定】

enable

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# airset 11g anyscan disable
```

airset [11a | 11g] ssid anyscan

ANY拒否(Stealth SSID)機能を設定します。

【コマンドの構文】

airset <media> ssid anyscan [ssidname <ssid> | ssidnum <ssidnum>] <state>

【パラメーター】

<media>	11a	802.11aのANY拒否機能の有効/無効を設定します。
	11g	802.11gのANY拒否機能の有効/無効を設定します。
<ssid>	設定対象のSSIDを指定します。(1～32文字)	
<ssidnum>	設定対象のSSIDの番号を指定します。 (airset ssid showコマンドで表示された番号から選択します)	
<state>	enable	SSIDを不特定多数の機器に通知します。
	disable	SSIDを他の機器に通知しません。

【デフォルト設定】

enable

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.40以降

【コマンドの例】

```
# airset 11g ssid anyscan ssidname buffalo disable
```

airset [11a｜11g] ssid privacy

プライバシーセパレーター機能を設定します。

【コマンドの構文】

airset <media> ssid privacy [ssidname <ssid>｜ssidnum <ssidnum>] [station｜ssid｜disable]

【パラメーター】

<media>	11a	802.11aのプライバシーセパレーター機能の設定します。
	11g	802.11gのプライバシーセパレーター機能の設定します。
<ssid>	設定対象のSSIDを指定します。(1～32文字)	
<ssidnum>	設定対象のSSIDの番号を指定します。(airset ssid showコマンドで表示された番号から選択します)	
station	デバイス内(およびデバイス間)のすべての無線子機間の通信を禁止します。	
ssid	SSIDの異なるネットワーク間の通信を禁止します。	
disable	プライバシーセパレーター機能を使用しません。	

【デフォルト設定】

disable

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# airset 11g ssid privacy ssidname buffalo ssid
# airset 11g ssid privacy ssidnum 4 disable
# airset 11a ssid privacy ssidname buffalo station
```

airset [11a | 11g] ssid vlan

VLAN IDを設定します。

【コマンドの構文】

airset <media> ssid vlan [ssidname <ssid> | ssidnum <ssidnum>] vlanid <vid>

【パラメーター】

<media>	11a	802.11aのVLAN IDを設定します。
	11g	802.11gのVLAN IDを設定します。
<ssid>	設定対象のSSIDを指定します。(1〜32文字)	
<ssidnum>	設定対象のSSIDの番号を指定します。 (airset ssid showコマンドで表示された番号から選択します)	
<vid>	VLAN IDを設定します。(0〜4049)	

【デフォルト設定】

1

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# airset 11a ssid vlan ssidnum 4 vlanid 2
# airset 11g ssid vlan ssidname buffalo vlanid 1
```

airset [11a | 11g] ssid default

メインSSIDを初期設定に戻します。

【コマンドの構文】

airset <media> ssid default

【パラメーター】

<media>	11a	802.11aのSSIDを初期設定に戻します。
	11g	802.11gのSSIDを初期設定に戻します。

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# airset 11a ssid default
```

airset [11a | 11g] ssid show status

SSIDと、SSIDとの設定情報を表示します。

【コマンドの構文】

airset <media> ssid show status

【パラメーター】

<media>	11a	802.11aのSSID設定情報を表示します。
	11g	802.11gのSSID設定情報を表示します。

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Reference Mode、Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# airset 11a ssid show status
```

airset [11a | 11g] ssid show config

SSIDごとの設定内容を表示します。

【コマンドの構文】

airset <media> ssid show config

【パラメーター】

<media>	11a	802.11aのSSID設定情報を表示します。
	11g	802.11gのSSID設定情報を表示します。

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Reference Mode、Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# airset 11a ssid show config
```

airset [11a | 11g] wds [enable | disable | exclusive]

WDS機能(全体)の有効/無効設定を行います。

【コマンドの構文】

airset <media> wds <state>

【パラメーター】

<media>	11a	802.11aのWDS機能を設定します。
	11g	802.11gのWDS機能を設定します。
<state>	enable	WDS機能を有効にします。
	disable	WDS機能を無効にします。
	exclusive	WDS専用モードに設定します。

【デフォルト設定】

disable

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# airset 11a wds enable
# airset 11g wds disable
# airset 11a wds exclusive
```

airset [11a | 11g] wds [add | create]

WDSの接続先を追加します。

【コマンドの構文】

airset <media> wds [add | create] <peer>

【パラメーター】

<media>	11a	802.11aのWDS接続先を追加します。
	11g	802.11gのWDS接続先を追加します。
add	接続先を追加します。	
create	接続先を追加します。(alias)	
<peer>	接続先のMACアドレスを設定します。	

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# airset 11a wds add 11:22:33:ab:1a:2b
```

airset [11a｜11g] wds delete

WDSの接続先を削除します。

【コマンドの構文】

airset <media> wds delete [address <peer>｜num <peernum>]

【パラメーター】

<media>	11a	802.11aのWDS接続先を削除します。
	11g	802.11gのWDS接続先を削除します。
<peer>	接続先のMACアドレスを設定します。	
<peernum>	接続先の番号を指定します。 （airset media wds showコマンドで表示された番号から選択します）	

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# airset 11a wds delete address 11:22:33:ab:1a:2b
# airset 11a wds delete num 5
```

airset [11a | 11g] wds security

WDSのセキュリティー設定を行います。

【コマンドの構文】

airset <media> wds security [address <peer> | num <peernum>] <auth> cipher none
airset <media> wds security [address <peer> | num <peernum>] <auth> cipher wep fixed key <wepkey>
airset <media> wds security [address <peer> | num <peernum>] <auth> cipher aes key <psk>

【パラメーター】

<media>	11a	802.11aのWDSセキュリティーを設定します。
	11g	802.11gのWDSセキュリティーを設定します。
<peer>	接続先のMACアドレスを設定します。	
<peernum>	接続先の番号を指定します。 (airset media wds showコマンドで表示された番号から選択します)	
<auth>	認証方式を以下の中から指定します。	
	none	認証を行いません。
	wpapsk	WPA-PSK認証を行います。
<wepkey>	WEP暗号化キーを入力します。(5文字または13文字、10桁または26桁の16進数)	
<psk>	事前共有キーを入力します。(8～63文字、または64桁の16進数)	

【デフォルト設定】

auth: none　　wepkey/psk: 空欄

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# airset 11g wds security num 1 none
# airset 11g wds security address 11:22:33:ab:1a:2b cipher wep fixed
key 1234567890123
# airset 11a wds security num3 wpapsk cipher aes key buffalo-buffalo
```

airset [11a｜11g] wds vlan

WDSのVLAN 設定を行います。

【コマンドの構文】

airset <media> wds vlan [address <peer>｜num <peernum>] mode [tagged｜untagged] [vlan <vid>]

【パラメーター】

<media>	11a	802.11aのWDS VLAN設定を行います。
	11g	802.11gのWDS VLAN設定を行います。
<peer>	接続先のMACアドレスを設定します。	
<peernum>	接続先の番号を指定します。 （airset media wds showコマンドで表示された番号から選択します）	
<vid>	untaggedの場合、VLAN IDを設定します。（0〜4094）	

【デフォルト設定】

vid：1　untagged

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# airset 11g wds vlan num 1 mode untagged vlan 1
# airset 11g wds vlan address 11:22:33:ab:1a:2b mode tagged
```

airset [11a｜11g] wds show status

WDS接続先と、接続先ごとの設定情報を表示します。

【コマンドの構文】

airset <media> wds show status

【パラメーター】

<media>	11a	802.11a のWDS接続先情報を表示します。
	11g	802.11g のWDS接続先情報を表示します。

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Reference Mode、Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# airset 11a wds show status
```

airset [11a | 11g] wds show config

WDS機能と接続先ごとの設定内容を表示します。

【コマンドの構文】

airset <media> wds show config

【パラメーター】

<media>	11a	802.11aのWDS設定情報を表示します。
	11g	802.11gのWDS設定情報を表示します。

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Reference Mode、Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# airset 11a wds show config
```

airset [11a｜11g] channel

無線チャンネルの設定を行います。

【コマンドの構文】

＜WAPM-HP-AM54G54の場合＞
airset <media> channel <bandnum1>

＜WAPM-APG300N/WAPM-AG300Nの場合＞
airset <media> channel <bandnum2> [bandwidth <width>]
airset <media> channel <autoch> scaninterval <min> [uncond]
airset <media> channel <autoch> bandwidth <width> scaninterval <min> [uncond]

【パラメーター】

<media>
11a　802.11aの無線チャンネルを設定します。
11g　802.11gの無線チャンネルを設定します。

<bandnum1>
無線チャンネルを指定します。
802.11aの場合は、36、40、44、48、52、56、60、64chより選択します。
また、自動設定（auto_w52、auto_w52w53）も選択できます。
auto_w52　36、40、44、48chより自動的に選択
auto_w52w53　36、40、44、48、52、56、60、64chより自動的に選択
802.11g の場合は、1～13chより選択します。
また、自動設定（auto_1-11ch、auto_1-13ch）も選択できます。
auto_1-11ch　1～11chより自動的に選択
auto_1-13ch　1～13chより自動的に選択

<bandnum2>
無線チャンネルを指定します。
802.11aの場合は、36、40、44、48、52、56、60、64、100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140chより選択します。
（802.11nで使用する場合は、36+40、40+36、44+48、48+44、52+56、56+52、60+64、64+60 の組み合わせとなります）
また、自動設定（auto_w52、auto_w52w53、auto_w52w53w56）も選択できます。
auto_w52　36、40、44、48chより自動的に選択
auto_w52w53　36、40、44、48、52、56、60、64chより自動的に選択
auto_w52w53w56　36、40、44、48、52、56、60、64、100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140chより自動的に選択
802.11gの場合は、1～13chより選択します。
（802.11n で使用する場合は、1+5、2+6、3+7、4+8、5+9、5+1、6+10、6+2、7+11、7+3、8+12、8+4、9+13、9+5、10+6、11+7、12+8、13+9の組み合わせとなります）
また、自動設定（auto_1-11ch、auto_1-13ch）も選択できます。
auto_1-11ch　1～11chより自動的に選択
auto_1-13ch　1～13chより自動的に選択

<width>
無線チャンネルが自動選択の場合に指定します。
20m　通常モード（20MHz）に設定します。
40m　倍速モード（40MHz）に設定します。

<autoch>	各バンドにおける無線チャンネルの自動選択設定を指定します。	
	auto_w52	36、40、44、48chより自動的に選択
	auto_w52w53	36、40、44、48、52、56、60、64chより自動的に選択
	auto_w52w53w56	36、40、44、48、52、56、60、64、100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140chより自動的に選択
	auto_1-11ch	1〜11chより自動的に選択
	auto_1-13ch	1〜13chより自動的に選択
<min>	無線チャンネルの変更検出間隔を5〜60分の範囲で設定します。	
[uncond]	付加された場合は、本製品と通信中の無線子機があっても、無線チャンネルが切り替わります。	

【デフォルト設定】

11a：auto_w52（40m）
11g：auto_1-11ch（20m）

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54
（WAPM-HP-AM54G54では、無線チャンネルにW56は設定できません）

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# airset 11a channel 46
# airset 11g channel auto_1-11ch
# airset 11a channel 36+40
# airset 11g channel 1+5
# airset 11g channel auto_1-13ch bandwidth 40m scaninterval 30 uncond
```

airset [11a | 11g] band

「airset [11a | 11g] channel」（P101）と同等のコマンドです。書式やパラメーターについては、「airset [11a | 11g] channel」（P101）を参照してください

airset [11a｜11g] mode

無線の動作モードとBasicRateSetの設定を行います。

【コマンドの構文】

＜WAPM-HP-AM54G54の場合＞
airset <media> mode <modestr> brs <brsstr>
airset <media> mode <modestr> plcp <plcp_mod> slot <slot_mod> rateset <ratestr>

＜WAPM-APG300N / WAPM-AG300Nの場合＞
airset <media> mode <modestr> brs <brsstr>
airset <media> mode <modestr> plcp <plcp_mod> slot <slot_mod> rateset <ratestr>
airset <media> mode <modestr> plcp <plcp_mod> slot <slot_mod> rateset <ratestr> mcsset <mcsstr>

【パラメーター】

<media>　11a　802.11aの設定を行います。
　11g　802.11gの設定を行います。

<modestr>　動作モードを設定します。
11gの設定の場合、WAPM-HP-AM54G54では、11b、auto、turbo、manualから設定を選択します。
WAPM-AMG300N/WAPM-AG300Nでは、11b、11b11g、11g、11g、11b11g11n、11g11n、11n、manualから設定を選択します。
11aの設定の場合、WAPM-HP-AM54G54では、auto、manualから設定を選択します。
WAPM-AMG300N/WAPM-AG300Nでは、11a11n、11a、manualから設定を選択します。

<brsstr>　Basic rate setを以下の中から選択します。
2m　: [11b/g] 1/2Mbps
11m : [11b/g] 1/2/5.5/11Mbps
24m : [11g] 1/2/5.5/11/6/12/24Mbps
　[11a] 6/12/24Mbps
54m : [11g] 1/2/5.5/11/6/9/12/18/24/36/48/54Mbps
　[11a] 6/9/12/18/24/36/48/54Mbps
all　: all rate supported by current band

<plcp_mod>　auto、short、longの中から選択します。

<slot_mod>　auto、short、longの中から選択します。

<ratestr>　rateset をmanualとした場合、Rate とBasic Rateを任意に設定します。以下の中から選択します。複数のRateを設定する場合は、空白で区切ります。また、Basic Rateに指定する場合は、数字に続けて”b”を付けます。
また、文字列はダブルコーテーション(“ “)で囲んでください。
“1” ”2” ”5.5” ”6” ”9” ”11” ”12” ”18” ”24” ”36” ”48” ”54”

<mcsstr> rateset をmanualとした場合、MCS indexを任意に設定します。以下の中から選択します。
また、文字列はダブルコーテーション(” ”)で囲んでください。
“0” ”1” ”2” ”3” ”4” ”5” ”6” ”7” ”8” ”9” ”10” ”11” ”12” ”13” ”14” ”15”

【デフォルト設定】

WAPM-HP-AM54G54の場合
modestr：11b(11b)、auto(11g)、auto(11a)
bssstr：2m(11b)、11m(11g)、54m(11a)
WAPM-APG300N/WAPM-AG300Nの場合
modestr：11b11g11n(11g)、11a11n(11a)

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.3以降

【コマンドの例】

```
# airset 11b mode 11b brs 11m
# airset 11a mode auto brs 54m
# airset 11g mode manual plcp short slot short rateset “5.5b 6 9 11b
12 18 24 36 48 54”
# airset 11a mode manual plcp short slot short rateset “6b 9b 12b 18b
24b 36 48 54”
# airset 11a mode 11a11n
# airset 11a mode manual plcp auto slot auto rateset “24b 36b 48b 54b”
mcsset “3 4 5 7 11 12 13 14 15”
# airset 11g mode manual plcp auto slot auto rateset “24b 36b 48b 54b”
mcsset“”
```

airset 11g 80211g-protect

802.11gのProtectionモードの設定を行います。

【コマンドの構文】

airset 11g 80211g-protect <state>

【パラメーター】

<state>	enable	Protectionモードを有効にします。
	disable	Protectionモードを無効にします。

【デフォルト設定】

enable

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# airset 11g 80211g-protect enable
```

airset [11a｜11g] frameburst

フレームバーストモードの設定を行います。

【コマンドの構文】

airset <media> frameburst <state>

【パラメーター】

<media>	11a	802.11aのフレームバースト機能を設定します。
	11g	802.11gのフレームバースト機能を設定します。
<state>	enable	フレームバースト機能を有効にします。
	disable	フレームバースト機能を無効にします。

【デフォルト設定】

disable

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# airset 11g frameburst enable
# airset 11a frameburst disable
```

airset [11a｜11g] mrate

マルチキャスト/ブロードキャストレートの設定を行います。

【コマンドの構文】

airset <media> mrate <rate>

【パラメーター】

<media>	11a	802.11a のマルチキャスト/ブロードキャストレートを設定します。
	11g	802.11g のマルチキャスト/ブロードキャストレートを設定します。
<rate>	レートを以下の中から設定します。 1、2、5.5、6、9、11、12、18、24、36、48、54、auto	

【デフォルト設定】

11a、11g 共にauto

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# airset 11g mrate auto
# airset 11a mrate 11
```

airset [11a | 11g] txpower

無線送信出力の設定を行います。

【コマンドの構文】

airset <media> txpower <power>

【パラメーター】

<media>	11a	802.11aの無線送信出力を設定します。
	11g	802.11gの無線送信出力を設定します。
<power>	送信出力(%)を25〜100%の範囲で、5%単位で設定します。	

【デフォルト設定】

100

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# airset 11g txpower 25
# airset 11a txpower 100
```

airset [11a｜11g] transmit

再送回数の設定を行います。

【コマンドの構文】

airset <media> transmit <num>

【パラメーター】

<media>	11a	802.11aの再送回数を設定します。
	11g	802.11gの再送回数を設定します。
<num>	再送回数を設定します。(1～16)	

【デフォルト設定】

4

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# airset 11g transmit 8
# airset 11a transmit 1
```

airset [11a｜11g] beacon period

Beaconの送信間隔の設定を行います。

【コマンドの構文】

airset <media> beacon period <num>

【パラメーター】

<media>	11a	802.11aの送信間隔を設定します。
	11g	802.11gの送信間隔を設定します。
<num>	送信間隔を設定します。(10～1000)	

【デフォルト設定】

100

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# airset 11g beacon period 200
```

airset [11a | 11g] beacon dtim

DTIM送信間隔の設定を行います。

【コマンドの構文】

airset <media> beacon dtim <num>

【パラメーター】

<media>	11a	802.11aの送信間隔を設定します。
	11g	802.11gの送信間隔を設定します。
<num>	送信間隔を設定します。(1～255)	

【デフォルト設定】

1

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# airset 11g beacon dtim 200
```

airset [11a | 11g] diversity

Antenna Diversityの設定を行います。

【コマンドの構文】

airset <media> diversity <mode>

【パラメーター】

<media>	11a	802.11aのAntenna Diversityの設定を行います。
	11g	802.11gのAntenna Diversityの設定を行います。
<mode>	auto、ant1、ant2のいずれかを指定します。	

【デフォルト設定】

auto

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# airset 11g diversity ant1
# airset 11a diversity ant2
```

airset [11a | 11g] loadbalance limit

同時接続台数の設定を行います。

【コマンドの構文】

airset <media> loadbalance limit <num>

【パラメーター】

<media>	11a	802.11aの同時接続台数の設定を行います。
	11g	802.11gの同時接続台数の設定を行います。
<num>	最大同時接続台数を設定します。(1～256)	

【デフォルト設定】

256

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# airset 11g loadbalance limit 16
```

airset [11a | 11g] rtsthreshold

RTS Thresholdの設定を行います。

【コマンドの構文】

airset <media> rtsthreshold <num>

【パラメーター】

<media>	11a	802.11aのRTS Thresholdの設定を行います。
	11g	802.11gのRTS Thresholdの設定を行います。
<num>	RTS/CTS 手順を開始する送信フレームサイズのしきい値を設定します。(0〜2347)	

【デフォルト設定】

2347

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# airset 11g rtsthreshold 1500
```

airset [11a | 11g] fragmentthreshold

Fragment Threshold機能の設定を行います。

【コマンドの構文】

airset <media> fragmentthreshold <num>

【パラメーター】

<media>	11a	802.11aのFragment Thresholdの設定を行います。
	11g	802.11gのFragment Thresholdの設定を行います。
<num>	フレームの断片化を行う送信フレームサイズのしきい値を設定します。(256～2346)	

【デフォルト設定】

2346

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# airset 11g fragmentthreshold 1500
```

airset [11a | 11g] keepalive

端末キープアライブ間隔機能の設定を行います。

【コマンドの構文】

airset <media> keepalive <num>

【パラメーター】

<media>	11a	802.11aの端末キープアライブ間隔機能の設定を行います。
	11g	802.11gの端末キープアライブ間隔機能の設定を行います。
<num>	キープアライブ送信間隔(秒)を設定します。(0または、60～3600)	

【デフォルト設定】

60

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# airset 11g keepalive 60
```

airset 11g carriersense

キャリアセンス感度の設定を行います。

【コマンドの構文】

airset 11g carriersense <mode>

【パラメーター】

<mode> キャリアセンス感度を設定します。(auto、wlan、wideの中から設定します)

【デフォルト設定】

auto

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# airset 11g carriersense wlan
```

airset [11a | 11g] gi

ガードインターバルの設定を行います。

【コマンドの構文】

airset <media> gi <mode>

【パラメーター】

<media>	11a	802.11aのガードインターバルの設定を行います。
	11g	802.11gのガードインターバルの設定を行います。
<mode>	ガードインターバルの設定をします。(short、longの中から設定します)	

【デフォルト設定】

short

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N

【対応バージョン】

Ver.2.40以降

【コマンドの例】

```
# airset 11g gi long
```

airset [11a | 11g] aggregation

アグリゲーションの設定を行います。

【コマンドの構文】

airset <media> aggregation <mode> [rx <len>]

【パラメーター】

<media>	11a	802.11aのアグリゲーションの設定を行います。
	11g	802.11gのアグリゲーションの設定を行います。
<mode>	アグリゲーションの設定をします。(disable、ampdu、amsduの中から設定します)	
<len>	modeでampduまたはamsduを選択した場合のみ、設定を行います。(ampduの場合は、8k、16k、32k、64kの中から設定します。amsduの場合は、4k、8kの中から設定します)	

【デフォルト設定】

11a、11g 共にampdu(64k)

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N

【対応バージョン】

Ver.2.40以降

【コマンドの例】

```
# airset 11a aggregation aspdu rx 4k
# airset 11g aggregation ampdu rx 32k
# airset 11g aggregation disable
```

airset [11a | 11g] sm-powersave

SM Power Saveの設定を行います。

【コマンドの構文】

airset <media> sm-powersave <mode>

【パラメーター】

<media>	11a	802.11aのSM Power Saveの設定を行います。
	11g	802.11gのSM Power Saveの設定を行います。
<mode>	SM Power Saveの設定をします。(disable、dynamic、staticの中から設定します)	

【デフォルト設定】

disable

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N

【対応バージョン】

Ver.2.40以降

【コマンドの例】

```
# airset 11a sm-powersave dynamic
# airset 11g sm-powersave static
```

airset [11a | 11g] ssid macfilter

MACアドレスフィルター機能の設定を行います。

【コマンドの構文】

airset <media> ssid macfilter [ssidname <ssid> | ssidnum <ssidnum>] <state>

【パラメーター】

<media>	11a	802.11aのMACアドレスフィルター設定を行います。
	11g	802.11gのMACアドレスフィルター設定を行います。
<ssid>	設定対象のSSIDを指定します。(1～32文字)	
<ssidnum>	設定対象のSSIDの番号を指定します。 (airset ssid showコマンドで表示された番号から選択します)	
<state>	enable	MACアドレスフィルターを有効にします。
	disable	MACアドレスフィルターを無効にします。

【デフォルト設定】

disable

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# airset 11g ssid macfilter ssidnum 1 enable
```

airset [11a | 11g] 80211n-protect

802.11nプロテクションの設定を行います。

【コマンドの構文】

airset <media> 80211n-protect <state>

【パラメーター】

<media>	11a	802.11aの802.11nプロテクションの設定を行います。
	11g	802.11gの802.11nプロテクションの設定を行います。
<state>	enable	802.11nプロテクションを有効にします。
	disable	802.11nプロテクションを無効にします。

【デフォルト設定】

enable

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N

【対応バージョン】

Ver.2.40以降

【コマンドの例】

```
# airset 11g 80211n-protect enable
```

airset [11a｜11g] 80211h-send

802.11h 送信パラメーターの設定を行います。

【コマンドの構文】

airset <media> 80211h-send <state>

【パラメーター】

<media>	11a	802.11aの送信パラメーターの設定を行います。
	11g	802.11gの送信パラメーターの設定を行います。
<state>	enable	802.11h送信パラメーターを有効(送信)にします。
	disable	802.11h送信パラメーターを無効にします。

【デフォルト設定】

disable

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.40以降

【コマンドの例】

```
# airset 11g 80211h-send enable
```

airset switch [11a | 11g]

有効にする無線規格を切り替えます。

【コマンドの構文】

airset switch <state>

【パラメーター】

<state>	11a	802.11aを有効にします。
	11g	802.11gを有効にします。
	none	無線機能を無効にします。

【デフォルト設定】

無効

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-AG300N

【対応バージョン】

Ver.2.40以降

【コマンドの例】

```
# airset switch 11g
```

airset [11a | 11g] survey

周囲の無線環境に関する情報の取得を行うサーベイ機能の設定を行います。

【コマンドの構文】

airset <media> survey <state>

【パラメーター】

<state>	enable	サーベイを有効にします。
	disable	サーベイを無効にします。

【デフォルト設定】

disable

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.52以降

【コマンドの例】

```
# airset 11g survey enable
```

airset [11a | 11g] basic_info show status

無線情報を表示します。

【コマンドの構文】

airset <media> basic_info show status

【パラメーター】

<media>	11a	802.11aの無線情報を表示します。
	11g	802.11gの無線情報を表示します。

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Reference Mode、Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# airset 11a basic_info show status
```

airset [11a | 11g] basic_info show config

無線の設定内容を表示します。

【コマンドの構文】

airset <media> basic_info show config

【パラメーター】

<media>	11a	802.11aの無線設定情報を表示します。
	11g	802.11gの無線設定情報を表示します。

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Reference Mode、Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# airset 11a basic_info show config
```

radiusコマンド

radius [primary | secondary] [enable | disable] [internal_server]

RADIUSサーバー機能の有効/無効の設定を行います。

【コマンドの構文】

radius [subnet name <sn-name> | subnet num <sn-num>] [primary | secondary] enable server <host> secret <secret>
radius [subnet name <sn-name> | subnet num <sn-num>] [primary | secondary] enable internal_server
radius [subnet name <sn-name> | subnet num <sn-num>] [primary | secondary] disable

【パラメーター】

<sn-name>	サブネットの名称を設定します。(1～32文字)
<sn-num>	サブネットの番号を指定します。
enable	RADIUSサーバー機能を有効にします。
disable	RADIUSサーバー機能を無効にします。
<host>	認証要求を行うサーバーをIPアドレスまたはドメイン名で指定します。(1～255文字)
<secret>	SharedSecret を設定します。(1～255文字)
internal_server	認証要求を行うサーバーを内蔵RADIUSサーバーに設定します。

【デフォルト設定】

primary、secondary共にdisable

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54
(WAPM-HP-AM54G54では、internal_server パラメーターは指定できません)

【対応バージョン】

Ver.2.30以降
(internal_server パラメーターはVer.2.54以降の対応です)

【コマンドの例】

```
# radius subnet name manage primary enable server 111.222.333.444
secret buffalo
# radius subnet name manage primary enable internal_server
# radius subnet num 1 secondary disable
```

radius [primary | secondary] create

「radius [primary | secondary] enable」(P121)と同等のコマンドです。書式やパラメーターについては、「radius [primary | secondary] enable」(P121)を参照してください。

radius [primary | secondary] delete

RADIUSサーバー設定を削除します。

【コマンドの構文】

radius [subnet name <sn-name>｜subnet num <sn-num>] [primary｜secondary] delete

【パラメーター】

<sn-name>　サブネットの名称を設定します。（1～32文字）
<sn-num>　サブネットの番号を指定します。

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.52以降

【コマンドの例】

```
# radius subnet num 1 secondary delete
```

radius [primary | secondary] session-timeout

RADIUSサーバーが許可する無線機器の通信可能時間を設定します。

【コマンドの構文】

radius [subnet name <sn-name> | subnet num <sn-num>] [primary | secondary] session-timeout <num>

【パラメーター】

<sn-name>	サブネットの名称を設定します。(1～32文字)
<sn-num>	サブネットの番号を指定します。
<num>	session-timeoutの時間を設定します。(0～86400秒)

【デフォルト設定】

primary、secondary共に3600

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# radius subnet name manage primary session-timeout 60
# radius subnet num 1 secondary session-timeout 0
```

radius [primary | secondary] attribute termination-action

Session-Timeoutで設定された通信時間が経過したときの動作を設定します。

【コマンドの構文】

radius [subnet name <sn-name> | subnet num <sn-num>] [primary | secondary] attribute termination-action <state>

【パラメーター】

<sn-name>	サブネットの名称を設定します。(1～32文字)	
<sn-num>	サブネットの番号を指定します。	
<state>	enable	RADIUSサーバーに設定されたTermination-Action属性の設定値に従います。
	disable	無条件で再認証を開始します。

【デフォルト設定】

primary、secondary 共にdisable

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# radius subnet name manage primary attribute termination-action
enable
# radius subnet num 1 secondary attribute termination-action disable
```

radius [primary｜secondary] authport

RADIUS認証プロトコルに用いるサーバーのUDPポートを設定します。

【コマンドの構文】

radius [subnet name <sn-name>｜subnet num <sn-num>] [primary｜secondary] authport <port>

【パラメーター】

<sn-name>　サブネットの名称を設定します。（1～32文字）
<sn-num>　サブネットの番号を指定します。
<port>　UDPポートを指定します。（0～65535）

【デフォルト設定】

primary、secondary 共に1812

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# radius subnet name manage primary authport 12293
# radius subnet num 1 secondary authport 19224
```

radius [primary｜secondary] acctport

RADIUS Accountingプロトコルに用いるサーバーのUDPポートを設定します。

【コマンドの構文】

radius [subnet name <sn-name>｜subnet num <sn-num>] [primary｜secondary] acctport <port>

【パラメーター】

<sn-name>　サブネットの名称を設定します。（1～32文字）
<sn-num>　サブネットの番号を指定します。
<port>　UDPポートを指定します。（0～65535）

【デフォルト設定】

primary、secondary共に1813

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# radius subnet name manage primary acctport 12294
# radius subnet num 1 secondary acctport 19225
```

radius [primary | secondary] accounting

RADIUS Accountingの有効/ 無効の設定を行います。

【コマンドの構文】

radius [subnet name <sn-name> | subnet num <sn-num>] [primary | secondary] accounting [enable | disable]

【パラメーター】

<sn-name>	サブネットの名称を設定します。(1〜32文字)
<sn-num>	サブネットの番号を指定します。
enable	RADIUS Accountingを有効にします。
disable	RADIUS Accountingを無効にします。

【デフォルト設定】

primaryのみ有効

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.52以降

【コマンドの例】

```
# radius subnet name manage primary accounting enable
# radius subnet num 1 secondary accounting disable
```

radius asam

有線デバイスやリピーター(WDS)を通して情報を共有可能なエアステーションを探索する間隔を設定します。

【コマンドの構文】

radius asam enable auth secret key <key> interval <interval>
radius asam disable

【パラメーター】

<key>	情報を共有するための共有キーを設定します。(6～32文字)
<interval>	情報を共有可能なエアステーションを探索する間隔を設定します。(10～300秒)

【デフォルト設定】

disable

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降
(Ver.2.51以降では、<interval> オプション値は反映されません)

【コマンドの例】

```
# radius asam enable auth secret key buffalo interval 30
```

radius show status

RADIUS情報を表示します。

【コマンドの構文】

radius show status

【パラメーター】

なし

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Reference Mode、Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# radius show status
```

radius show config

RADIUS設定内容を表示します。

【コマンドの構文】

radius show config

【パラメーター】

なし

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Reference Mode、Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# radius show config
```

radius internal_server [enable | disable]

内蔵RADIUSサーバー機能の有効/無効の設定を行います。

【コマンドの構文】

radius internal_server enable eap [peap | tls] cert server <tftp-server> <file> password <password> secret <secret>
radius internal_server enable eap [peap | tls] cert server <tftp-server> <file> secret <secret>
radius internal_server enable eap peap secret <secret>
radius internal_server disable

【パラメーター】

<tftp-server>	TFTPサーバーをIPアドレスまたはドメイン名で指定します。(1～255文字)
<file>	EAP証明書ファイルのファイル名を指定します。(1～64文字)
<password>	EAP証明書ファイルのパスワードを指定します。(0～64文字)
<secret>	SharedSecret を設定します。(1～255文字)
enable	内蔵RADIUSサーバー機能を有効にします。
disable	内蔵RADIUSサーバー機能を無効にします。

【デフォルト設定】

disable

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N

【対応バージョン】

Ver.2.54以降

【コマンドの例】

```
# radius internal_server enable eap peap secret buffalo
# radius internal_server enable eap tls cert server 192.168.11.101
12345.pfx password abcd secret efgh
# radius internal_server enable eap peap cert server 192.168.11.102
67890.pfx secret ijkl
# radius internal_server disable
```

radius internal_server session-timeout

内蔵RADIUSサーバーが許可する無線機器の通信可能時間を設定します。

【コマンドの構文】

radius internal_server session-timeout <num>

【パラメーター】

<num>　　session-timeoutの時間を設定します。(0〜86400秒)

【デフォルト設定】

3600

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N

【対応バージョン】

Ver.2.54以降

【コマンドの例】

```
# radius internal_server session-timeout 600
```

radius internal_server termination-action

Session-Timeoutで設定された通信時間が経過したときの動作を設定します。

【コマンドの構文】

radius internal_server termination-action [radius-request | default | not-send]

【パラメーター】

radius-request	Termination-Action属性(Radius-Request)をアクセスポイント等に送信します。Session-Timeoutに設定された時間経過後、クライアントは再認証されます。
default	Termination-Action属性(Default)をアクセスポイント等に送信します。Session-Timeoutに設定された時間経過後、クライアントは再認証されません。
not-send	Termination-Action属性をアクセスポイント等に送信しません。Session-Timeoutに設定された時間経過後、クライアントは再認証されません。

【デフォルト設定】

radius-request

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N

【対応バージョン】

Ver.2.54以降

【コマンドの例】

```
# radius internal_server termination-action radius-request
# radius internal_server termination-action default
# radius internal_server termination-action not-send
```

bridgeコマンド

bridge aging

Aging Timeを設定します。

【コマンドの構文】

bridge aging <agingtime>

【パラメーター】

<agingtime>　Aging Timeを設定します。（10～3600秒）

【デフォルト設定】

300

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# bridge aging 10
```

bridge stp [enable | disable]

スパニングツリーの有効/ 無効を設定します。

【コマンドの構文】

bridge stp <state>

【パラメーター】

<state>	enable	スパニングツリーを有効にします。
	disable	スパニングツリーを無効にします。

【デフォルト設定】

disable

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# bridge stp enable
```

bridge stp mode [stp | rstp]

スパニングツリーのモードを設定します。

【コマンドの構文】

bridge stp mode <mode>

【パラメーター】

<mode>	stp	スパニングツリーを使用します。
	rstp	ラピッドスパニングツリーを使用します。

【デフォルト設定】

stp

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# bridge stp mode rstp
```

bridge stp priority

スパニングツリーのBridge Priorityを設定します。

【コマンドの構文】

bridge stp priority <value>

【パラメーター】

<value>　Bridge Priorityを設定します。(0～65535)

【デフォルト設定】

32768

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# bridge stp priority 0
```

bridge stp fwdelay

スパニングツリーのForwarding Delayを設定します。

【コマンドの構文】

bridge stp fwdelay <value>

【パラメーター】

<value>	Forwarding Delayを設定します。(4～30秒)

【デフォルト設定】

15

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# bridge stp fwdelay 30
```

bridge stp hellotime

スパニングツリーのHello Timeを設定します。

【コマンドの構文】

bridge stp hellotime <value>

【パラメーター】

<value>　　　Hello Timeを設定します。(1～10秒)

【デフォルト設定】

2

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# bridge stp hellotime 1
```

bridge stp maxage

スパニングツリーのMax Ageを設定します。

【コマンドの構文】

bridge stp maxage <value>

【パラメーター】

<value>　　　Max Ageを設定します。(6～40)

【デフォルト設定】

20

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# bridge stp maxage 6
```

bridge stp tx-holdcount

1秒間に送信されるBPDUの最大数を設定します。

【コマンドの構文】

bridge stp tx-holdcount <value>

【パラメーター】

<value>　　BPDU の最大数を設定します。(1〜10)

【デフォルト設定】

6

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# bridge stp tx-holdcount 5
```

bridge stp autoedge

ポートが3秒間、BPDUを受信しなかった場合に、ポートをEdgeポートとして扱うかどうかを設定します。

【コマンドの構文】

bridge stp autoedge <state>

【パラメーター】

<state>	enable	Auto Edgeを有効にします。
	disable	Auto Edgeを無効にします。

【デフォルト設定】

disable

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# bridge stp autoedge enable
```

bridge stp port [portN] [priority | cost | edgeport | ptop]

スパニングツリーのポートごとの情報を設定します。

【コマンドの構文】

bridge stp port <media> [ssidname <ssid> | ssidnum <ssidnum>] priority <priority> cost <cost> edgeport [enable | disable] ptop [auto | enable | disable]
bridge stp port <media> wds [address <peer> | num <peernum>] priority <priority> cost <cost> edgeport [enable | disable] ptop [auto | enable | disable]
bridge stp port ether <portnum> priority <priority> cost <cost> edgeport [enable |disable] ptop [auto | enable | disable]

【パラメーター】

<media>	11a　802.11aを設定します。 11g　802.11gを設定します。
<ssid>	設定対象のSSIDを指定します。(1～32文字)
<ssidnum>	設定対象のSSIDの番号を指定します。 (airset ssid showコマンドで表示された番号から選択します)
<peer>	設定対象のMACアドレスを指定します。
<peernum>	設定対象の番号を指定します。 (airset media wds showコマンドで表示された番号から選択します)
<portnum>	有線ポートの番号を指定します。
<priority>	Port Priorityを設定します。(0～255)
<cost>	Port Costを設定します。(1～200000000)
edgeport	edgeの有効/無効を設定します。
ptop	point-to-pointの設定を行います。

【デフォルト設定】

priority:128　　cost:有線ポート20、無線ポート50
edgeport:disable　　ptop:auto

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# bridge stp port 11a ssidnum 3 priority 30 cost 60 edgeport disable
ptop disable
# bridge stp port 11g ssidname buffalo priority 40 cost 50 edgeport
enable ptop disable
# bridge stp port ether 3 priority 20 cost 50 edgeport enable ptop
enable
# bridge stp port ether 1 priority 20 cost 50 edgeport enable ptop
enable
```

bridge show status

Bridge情報を表示します。

【コマンドの構文】

bridge show status

【パラメーター】

なし

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Reference Mode、Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# bridge show status
```

bridge show config

Bridge設定内容を表示します。

【コマンドの構文】

bridge show config

【パラメーター】

なし

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Reference Mode、Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# bridge show config
```

bridge multicast snooping

Multicast Snoopingに関する設定を行います。

【コマンドの構文】

bridge multicast snooping enable proto <protocol> rtport <port> aging <agingtime> defaultrule [forward | drop]
bridge multicast snooping disable

【パラメーター】

<protocol>	Snooping対象のプロトコルを指定します。(all、v4、v6から指定します)
<port>	Router Portを指定します。(WAPM-HP-AM54G54の場合は、eth0、eth1、eth2、eth3から指定します。WAPM-APG300N/WAPM-AG300Nの場合は、eth0のみの指定となります。)
<agingtime>	Snooping Databaseの有効時間を設定します。(1~300秒)
defaultrule	未学習のマルチキャストパケットの取り扱いを指定します。(forward、dropから指定します)

【デフォルト設定】

disable

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# bridge multicast snooping enable proto v4 rtport eth3 aging 60
defaultrule forward
# bridge multicast snooping disable
```

bridge multicast tunnel

Multicastトンネル転送モードの設定を行います。

【コマンドの構文】

bridge multicast tunnel <state>

【パラメーター】

<state>	enable	Multicastトンネル転送モードを有効にします。
	disable	Multicastトンネル転送モードを無効にします。

【デフォルト設定】

enable

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# bridge multicast tunnel enable
# bridge multicast tunnel disable
```

qosコマンド

qos policy

適用するQoSポリシーの設定を行います。

【コマンドの構文】

qos policy <policy>

【パラメーター】

<policy>	QoSポリシーを設定します。(WAPM-HP-AM54G54では、disable、layer2、layer3、portの中から設定します。WAPM-APG300N/WAPM-AG300Nでは、disable、layer2、layer3の中から設定します。)

【デフォルト設定】

disable
(優先制御を行いません)

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# qos policy disable
# qos policy layer2
# qos policy layer3
# qos policy port
```

qos priomapping

L2/L3 QoSで使用されるマッピングの設定を行います。

【コマンドの構文】

qos priomapping priority <prio> mapto <queue>

【パラメーター】

<prio>	Priority番号を設定します。dot1Q PriorityもしくはTOS Precedenceフィールドに対応する番号です。(0~7)
<queue>	queue nameを入力します。(highest、high、medium、lowestの中から選択します)

【デフォルト設定】

prio 0 medium、prio 1 lowest、prio 2 lowest、prio 3 medium、prio 4 high、prio 5 high、
prio 6 highest、prio 7 highest

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# qos priomapping priority 0 mapto highest
# qos priomapping priority 4 mapto low
```

qos codemapping

L2/L3 QoSで使用されるマッピングの設定を行います。

【コマンドの構文】

qos codemapping priority <prio> mapto <code>

【パラメーター】

<prio>	Priority番号を設定します。dot1Q PriorityもしくはTOS Precedenceフィールドに対応する番号です。(0〜7)
<code>	コーディング値を入力します。(0〜7)

【デフォルト設定】

prio 0 - code 0、prio 1 - code 1、prio 2 - code 2、prio 3 - code 3、prio 4 - code 4、
prio 5 - code 5、prio 6 - code 6、prio 7 - code 7

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# qos codemapping priority 0 mapto 1
```

qos portmapping

Port QoSで使用されるマッピングを設定します。

【コマンドの構文】

qos portmapping port <media> [ssidname <ssid> | ssidnum <ssidnum>] mapto <queue>
qos portmapping port <media> wds [address <peer> | num <peernum>] mapto <queue>
qos portmapping port ether <portnum> mapto <queue>

【パラメーター】

<media>	11a　802.11aを設定します。 11g　802.11gを設定します。
<ssid>	設定対象のSSIDを指定します。(1〜32文字)
<ssidnum>	設定対象のSSIDの番号を指定します。 (airset ssid showコマンドで表示された番号から選択します)
<peer>	設定対象のMACアドレスを指定します。
<peernum>	設定対象の番号を指定します。 (airset media wds showコマンドで表示された番号から選択します)
<portnum>	有線ポートの番号を指定します。
<queue>	queue nameを設定します。(highest、high、medium、lowestの中から選択します)

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# qos portmapping port 11a ssidnum 2 mapto highest
# qos portmapping port 11g wds address 11:22:33:aa:bb:cc mapto
highest
# qos portmapping port ether 4 mapto highest
```

qos queue edca

WMMパラメーターを設定します。

【コマンドの構文】

qos queue edca <media> type <type> param <param> <value>

【パラメーター】

<media>	ap	AP側の値を設定します。
	sta	STA側の値を設定します。
<type>	queue typeを指定します。(bk、be、vi、vo、background、besteffort、video、voiceの中から選択します)	
<param>	パラメーターの種別を指定します。(cwmin、cwmax、aifsn、txoplの中から選択します) (airset ssid showコマンドで表示された番号から選択します)	
<value>	パラメーター値を指定します。(1 < cwmin < 32767、1 < cwmax < 32767、1 < aifsn < 15、0 < txopl < 65535 の入力規則に従って設定します)	

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# qos queue edca ap type vo param cwmin value 3
# qos queue edca ap type vi param cwmax value 15
# qos queue edca sta type bk param txopl value 0
```

qos admissionctl

Admission Controlの設定を行います。

【コマンドの構文】

qos admissionctl [disable | vo <vo_param> [vi <vi_param>] reqwidth <value>]

【パラメーター】

disable	Admission Controlを無効にします。
<vo_param>	AC_VOへの割り当て帯域(%)を設定します。(0～100)

<vi_param>　AC_VIへの割り当て帯域(%)を設定します。(0～100)
<value>　要求毎に割り当て可能な最大帯域を設定します。
(0、8000、16000、32000、64000、128000、256000、512000、1000000、6000000、12000000、24000000 の中から選択します)

【デフォルト設定】

disable

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# qos admissionctl disable
# qos admissionctl vo 80 rwqwidth 64000
# qos admissionctl vo 60 vi 30 rwqwidth 8000
```

qos show status

QoS 設定情報を表示します。

【コマンドの構文】

qos show status

【パラメーター】

なし

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Reference Mode、Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# qos show status
```

qos show config

QoS設定内容を表示します。

【コマンドの構文】

qos show config

【パラメーター】

なし

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Reference Mode、Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# qos show config
```

profileコマンド

profile switch

プロファイルの切り替えを行います。

【コマンドの構文】

profile switch [profname <profname> | profnum <profnum>] [force]

【パラメーター】

<profname>	プロファイル名を指定します。(1～32文字)
<profnum>	プロファイル番号を指定します。 (profile showコマンドで表示された番号から選択します)

【デフォルト設定】

profnum 1

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# profile switch profnum 1
# profile switch profname business_days
# profile switch profname profile2 force
```

profile name

プロファイルの名称を設定します。

【コマンドの構文】

profile name profnum <profnum> profname <profname>

【パラメーター】

<profnum>	プロファイル番号を指定します。 (profile showコマンドで表示された番号から選択します)
<profname>	プロファイル名を指定します。(1～32文字)

【デフォルト設定】

profnum 1 profname profile1

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# profile name profnum 3 profname business_hours
```

profile color

プロファイルのWeb表示色を設定します。

【コマンドの構文】

profile color profnum <profnum> colornum <colornum>

【パラメーター】

<profnum>	プロファイル番号を指定します。 (profile showコマンドで表示された番号から選択します)
<colornum>	プロファイルWeb 表示色を設定します。(1:灰色、2:赤色、3:青色、4:マゼンタ、5:水色、6:緑色、7:黄色、8:橙色、9:黒色、10:朱色、11:桜色、12:ネイビーブルー、13:薄水色、14:抹茶、15:ベージュ、16:肌色　の中から選択します)

【デフォルト設定】

profnum 1 colornum 1、profnum 2 colornum 2、. . . . . . 、profnum 8 colornum 8

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# profile color profnum 3 colornum 9
```

profile copy

プロファイルのコピー(バックアップ)を行います。

【コマンドの構文】

profile copy [profname <srcprofname> | profnum <srcprofnum>] to [profname <dstprofname> | profnum <dstprofnum>] [force]

【パラメーター】

<srcprofname> コピー元のプロファイル名を指定します。(1～32文字)
<srcprofnum> コピー元のプロファイル番号を指定します。
(profile showコマンドで表示された番号から選択します)
<dstprofname> コピー先のプロファイル名を指定します。(1～32 文字)
<dstprofnum> コピー先のプロファイル番号を指定します。
(profile showコマンドで表示された番号から選択します)

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# profile copy profnum 1 to profnum 2
# profile copy profname Profile5 to profname Profile4
# profile copy profnum 1 to profnum 2 force
# profile copy profname Profile5 to profname Profile4 force
```

profile init

プロファイルの初期化を行います。

【コマンドの構文】

profile init [profname <profname> | profnum <profnum>]

【パラメーター】

<profname> プロファイル名を指定します。(1～32文字)
<profnum> プロファイル番号を指定します。
(profile showコマンドで表示された番号から選択します)

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# profile init profname Daytime
# profile init profnum 5
```

profile management

管理プロファイルの設定を行います。

【コマンドの構文】

profile management [profname <profname> | profnum <profnum>]

【パラメーター】

<profname>　プロファイル名を指定します。(1～32文字)
<profnum>　プロファイル番号を指定します。
(profile show コマンドで表示された番号から選択します)

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# profile management profname Holidays
# profile management profnum 5
```

profile schedule [enable | disable]

スケジューラーの有効/ 無効を設定します。

【コマンドの構文】

profile schedule <state> [force]

【パラメーター】

<state>	enable	スケジューラーを有効にします。
	disable	スケジューラーを無効にします。

【デフォルト設定】

disable

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# profile schedule enable
# profile schedule disable
# profile schedule enable force
# profile schedule disable force
```

profile schedule add

スケジュールリストのエントリの追加を行います。

【コマンドの構文】

profile schedule add week <weekdays> from <starttime> to <endtime>
[profname <profname> | profnum <profnum>]
profile schedule add date <[YY｜YYYY]>/<MM>/<DD> [profname <profname>｜
profnum <profnum>]
profile schedule add date <[YY｜YYYY]>/<MM>/<DD> maptoweek <weekday>

【パラメーター】

<weekdays>	適用する曜日の略称＋カンマ(,)を連結した文字列またはall、weekdays、weekend のいずれかを設定します。(曜日の略称は、Sun、Mon、Tue、Wed、The、Fri、Satを使用します。)
<starttime>	開始時間を設定します。(06:00～29:55)
<endtime>	終了時間を設定します。(06:00～30:00)
<profname>	プロファイル名を指定します。(1～32文字)
<profnum>	プロファイル番号を指定します。(profile showコマンドで表示された番号から選択します)
[YY | YYYY]	設定年を2桁または4桁で入力します。(2037年まで設定可)
<MM>	設定月を2桁で入力します。
<DD>	設定日を2桁で入力します。
<weekday>	適用する曜日の略称を設定します。(曜日の略称は、Sun、Mon、Tue、Wed、The、Fri、Satを使用します。)

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# profile schedule add week Mon,Tue,Wed from 09:00 to 22:00 profnum 2
# profile schedule add week weekdays from 09:00 to 22:00 profnum 2
# profile schedule add date 2011/10/31 profnum 4
# profile schedule add date 2011/07/24 mapweek Sun
```

profile schedule delete

スケジュールリストのエントリを削除します。

【コマンドの構文】

profile schedule delete [date | week] <listnum>

【パラメーター】

<listnum> 削除対象のリスト番号を指定します。
(profile schedule show statusコマンドで表示された番号から選択します)

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# profile schedule delete date 4
```

profile schedule move

スケジュールリストのエントリを移動します。

【コマンドの構文】

profile schedule move [date | week] <fromlistnum> to <tolistnum>

【パラメーター】

<fromlistnum> 移動対象のリスト番号を指定します。
(profile schedule show statusコマンドで表示された番号から選択します)

<tolistnum> 移動先のリスト番号を指定します。
(profile schedule show statusコマンドで表示された番号から選択します)

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# profile schedule move week 4 to 2
```

profile show status

Profile情報を表示します。

【コマンドの構文】

profile show status

【パラメーター】

なし

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Reference Mode、Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# profile show status
```

profile show config

Profile設定内容を表示します。

【コマンドの構文】

profile show config

【パラメーター】

なし

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Reference Mode、Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# profile show config
```

showコマンド

show status all

すべての設定情報を表示します。

【コマンドの構文】

show status all

【パラメーター】

なし

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Reference Mode、Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# show status all
```

show status setup

「setup show status」(P34)と同等のコマンドです。書式やパラメーターについては、「setup show status」(P34)を参照してください。

show status ip basic_info

「ip show status」(P58)と同等のコマンドです。書式やパラメーターについては、「ip show status」(P58)を参照してください。

show status dhcp-server

「ip dhcp-server show status」(P50)と同等のコマンドです。書式やパラメーターについては、「ip dhcp-server show status」(P50)を参照してください。

show status ip routing

「ip routing show status」(P55)と同等のコマンドです。書式やパラメーターについては、「ip routing show status」(P55)を参照してください。

show status ip subnet

「ip subnet show status」(P44)と同等のコマンドです。書式やパラメーターについては、「ip subnet show status」(P44)を参照してください。

show status ether

「ether show status」(P62)と同等のコマンドです。書式やパラメーターについては、「ether show status」(P62)を参照してください。

show status airset [11a | 11g] basic_info

「airset [11a | 11g] basic_info show status」(P119)と同等のコマンドです。書式やパラメーターについては、「airset [11a | 11g] basic_info show status」(P119)を参照してください。

show status airset [11a | 11g] ssid

「airset [11a | 11g] ssid show status」(P94)と同等のコマンドです。書式やパラメーターについては、「airset [11a | 11g] ssid show status」(P94)を参照してください。

show status airset [11a | 11g] wds

「airset [11a | 11g] wds show status」(P99)と同等のコマンドです。書式やパラメーターについては、「airset [11a | 11g] wds show status」(P99)を参照してください。

show status airset aoss

「airset aoss show status」(P72)と同等のコマンドです。書式やパラメーターについては、「airset aoss show status」(P72)を参照してください。

show status airset wps

「airset wps show status」(P76)と同等のコマンドです。書式やパラメーターについては、「airset wps show status」(P76)を参照してください。

show status airset maclist

「airset maclist show status」(P78)と同等のコマンドです。書式やパラメーターについては、「airset maclist show status」(P78)を参照してください。

show status airset acl

「airset acl show status」(P80)と同等のコマンドです。書式やパラメーターについては、「airset acl show status」(P80)を参照してください。

show status airset linking

「airset linkitg show status」(P65)と同等のコマンドです。書式やパラメーターについては、「airset linkitg show status」(P65)を参照してください。

show status radius

「radius show status」(P127)と同等のコマンドです。書式やパラメーターについては、「radius show status」(P127)を参照してください。

show status bridge

「bridge show status」(P138)と同等のコマンドです。書式やパラメーターについては、「bridge show status」(P138)を参照してください。

show status qos

「qos show status」(P145)と同等のコマンドです。書式やパラメーターについては、「qos show status」(P145)を参照してください。

show status profile

「profile show status」(P154)と同等のコマンドです。書式やパラメーターについては、「profile show status」(P154)を参照してください。

show status usb

「usb show status」(P169)と同等のコマンドです。書式やパラメーターについては、「usb show status」(P169)を参照してください。

show config all

すべての設定内容を表示します。

【コマンドの構文】

show config all

【パラメーター】

なし

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Reference Mode、Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# show config all
```

show config setup

「setup show config」(P35)と同等のコマンドです。書式やパラメーターについては、「setup show config」(P35)を参照してください。

show config ip basic_info

「ip show config」(P58)と同等のコマンドです。書式やパラメーターについては、「ip show config」(P58)を参照してください。

show config ip routing

「ip routing show config」(P55)と同等のコマンドです。書式やパラメーターについては、「ip routing show config」(P55)を参照してください。

show config ip dhcp-server

「ip dhcp-server show config」(P51)と同等のコマンドです。書式やパラメーターについては、「ip dhcp-server show config」(P51)を参照してください。

show config ip subnet

「ip subnet show config」(P44)と同等のコマンドです。書式やパラメーターについては、「ip subnet show config」(P44)を参照してください。

show config ether

「ether show config」(P63)と同等のコマンドです。書式やパラメーターについては、「ether show config」(P63)を参照してください。

show config airset [11a | 11g] basic_info

「airset [11a | 11g] basic_info show config」(P119)と同等のコマンドです。書式やパラメーターについては、「airset [11a | 11g] basic_info show config」(P119)を参照してください。

show config airset [11a | 11g] ssid

「airset [11a | 11g] ssid show config」(P95)と同等のコマンドです。書式やパラメーターについては、「airset [11a | 11g] ssid show config」(P95)を参照してください。

show config airset [11a | 11g] wds

「airset [11a | 11g] wds show config」(P100)と同等のコマンドです。書式やパラメーターについては、「airset [11a | 11g] wds show config」(P100)を参照してください。

show config airset aoss

「airset aoss show config」(P72)と同等のコマンドです。書式やパラメーターについては、「airset aoss show config」(P72)を参照してください。

show config airset wps

「airset wps show config」(P76)と同等のコマンドです。書式やパラメーターについては、「airset wps show config」(P76)を参照してください。

show config airset maclist

「airset maclist show config」(P79)と同等のコマンドです。書式やパラメーターについては、「airset maclist show config」(P79)を参照してください。

show config airset acl

「airset acl show config」(P80)と同等のコマンドです。書式やパラメーターについては、「airset acl show config」(P80)を参照してください。

show config airset linking

「airset linkitg show config」(P66)と同等のコマンドです。書式やパラメーターについては、「airset linkitg show config」(P66)を参照してください。

show config radius

「radius show config」(P128)と同等のコマンドです。書式やパラメーターについては、「radius show config」(P128)を参照してください。

show config bridge

「bridge show config」(P139)と同等のコマンドです。書式やパラメーターについては、「bridge show config」(P139)を参照してください。

show config qos

「qos show config」(P146)と同等のコマンドです。書式やパラメーターについては、「qos show config」(P146)を参照してください。

show config profile

「profile show config」(P155)と同等のコマンドです。書式やパラメーターについては、「profile show config」(P155)を参照してください。

show syslog

ログ情報を表示します。

【コマンドの構文】

show syslog facility <facility>

【パラメーター】

<facility> 転送するログ情報を以下から選択します。

filter	パケットフィルター
dhcpc	DHCPクライアント
aoss	AOSS
wireless	無線クライアント
auth	認証
config	設定変更
system	システム起動
ntpc	NTPクライアント
ether	有線リンク
profile	プロファイラー
ppp	PPPoEクライアント
dhcps	DHCPサーバー
usb	USB
all	すべて

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Reference Mode、Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.00以降

【コマンドの例】

```
# show syslog facility all
```

show snmp walk

SNMP サポートMIB を表示します。

【コマンドの構文】

show snmp walk

【パラメーター】

なし

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Reference Mode、Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.00以降

【コマンドの例】

```
# show snmp walk
```

editコマンド

edit start

Edit Modeへ移行します。

【コマンドの構文】

edit start [profname <profname> | profnum <profnum>]

【パラメーター】

<profname> プロファイル名を指定します。(1～32文字)
<profnum> プロファイル番号を指定します。
(profile showコマンドで表示された番号から選択します)

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Immediate Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# edit start profnum 1
```

edit end

Edit Modeを終了し、Immediate Modeへ移行します。

【コマンドの構文】

edit end [force]

【パラメーター】

なし

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# edit end
# edit end force
```

edit cancel

設定編集を破棄し、Immediate Modeへ移行します。

【コマンドの構文】

edit cancel [force]

【パラメーター】

なし

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# edit cancel
# edit cancel force
```

edit difference

変更した設定を表示します。

【コマンドの構文】

edit difference

【パラメーター】

なし

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# edit difference
```

edit save

変更した設定内容を保存します。

【コマンドの構文】

edit [profname <profname> | profnum <profnum>]

【パラメーター】

<profname>	プロファイル名を指定します。(1～32文字)
<profnum>	プロファイル番号を指定します。 (profile showコマンドで表示された番号から選択します)

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# edit save profnum 1
```

pingコマンド

ping

pingを実行します。

【コマンドの構文】

ping <destination>

【パラメーター】

<destination>　pingの送信先のIPアドレスまたはドメイン名を設定します。（1～255文字）

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.30以降

【コマンドの例】

```
# ping 192.168.11.1
```

usbコマンド

usb eject

本製品に取り付けたUSBフラッシュメモリーのイジェクト処理を行います。

【コマンドの構文】

usb eject

【パラメーター】

なし

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N

【対応バージョン】

Ver.2.40以降

【コマンドの例】

```
# usb eject
```

usb show status

USBポートの情報を表示します。

【コマンドの構文】

usb show status

【パラメーター】

なし

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Reference Mode、Immediate Mode、Edit Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N

【対応バージョン】

Ver.2.40以降

【コマンドの例】

```
# usb show status
```

exitコマンド

exit

CLIを終了します。

【コマンドの構文】

exit

【パラメーター】

なし

【デフォルト設定】

なし

【コマンドモード】

Immediate Mode

【対応製品】

WAPM-APG300N、WAPM-AG300N、WAPM-HP-AM54G54

【対応バージョン】

Ver.2.00以降

【コマンドの例】

```
# exit
```

quitコマンド

quit

「exit」(P171)と同等のコマンドです。書式やパラメーターについては、「exit」(P171)を参照してください。

WAPMシリーズ コマンドリファレンス
2011年7月14日　第4版発行
発行　株式会社バッファロー